

一等水準点検測成果集録

第 67 卷

2022年度観測
(令和4年度観測)

令和7年9月

国土交通省国土地理院

記

本集録は、令和4年度に、国土地理院が行った一等水準点検測の結果を集録、図示したものである。

令和7年9月

国土交通省国土地理院

一等水準点検測成果集録

第 6 7 卷

2022年度観測
(令和4年度観測)

目 次

1. 観測器械及び観測法

(1) 観測器械

(2) 観測法

2. 観測区域及び期間

3. 水準点変動図の説明

付図 一等水準路線図

一等水準点変動図

1. 観測器械および観測法

令和4年度において使用した観測器械および観測法は次のとおりである。

(1) 観測器械

A レベル

レベル名称	望遠鏡 倍率	水準器感度等
CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"

B 水準標尺

水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
		材質	目盛法
ヤマ製 精密水準標尺	3m	ニューズパインバール (巾 2.5cm, 長さ 3m)	"
カルツァイス製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾 2.2cm, 長さ 3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
ヤマ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニューズパインバール (巾 2.2cm, 長さ 3m)	"
Trimble 製 精密バーコード水準標尺	2m	インバール (巾 2.2cm, 長さ 2m)	"

(2) 観測法

観測に際しては、地上によく踏みこんだ鉄製標尺台に、標尺を尺付属の円形水準器によって鉛直に立て、レベルは、両標尺間の中央に整置し、後視 - 前視、更に前視 - 後視の順序に観測を行う。

整準ねじによって、まず円形水準器の気泡を中央に導き、第 1 回視準(後視 - 前視)は左側目盛分画線、第 2 回視準(前視 - 後視)は右側目盛分画線を視準する。

Carl Zeiss Jena 製 NI002A 型は、第 1 回視準はコンペンセーターが の位置、第 2 回視準はコンペンセーターが の位置において、測微装置によってくさび型十字糸で分画線を正しく挟んで 10 分の 1mm まで読みとる。

ツァイス製 DiNi12 型及び Trimble 製 DiNi0.3 型電子レベルの場合は、中央視準線がバーコード目盛の中心線と一致するように望遠鏡の向きを微調整した状態で読定ボタンを押す。

レベルと標尺の距離は、平地で通常 40m 以内とし、各水準点間 2km (地点標に併設された水準点間は 1km) の往復観測を行い、その往復差は、 $2.5\sqrt{S}$ mm (S は片道の観測距離で km 単位) 以内である。

なお、標尺の検定は、定期的にレーザー干渉計または基準尺により比較測定して行い、観測値に所要の補正をする。

附表

令和3年度以前において使用した観測器械及び観測法

(1) 観測器械

A レベル

観測年度	レベル名称	望遠鏡倍率	水準器感度
大正13年(1924)以前	Carl Bamberg製 一等レベル (Y型)	36倍	4" ~ 5" / 2mm
昭和27年(1952)	Carl Zeiss製 型 精密レベル	36倍	4" ~ 12" / 2mm (合致式)
昭和30年(1955)	Carl Zeiss製 型 精密レベル	36倍	4" ~ 12" / 2mm (合致式)
	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10" / 2mm (合致式)
昭和42年(1967)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10" / 2mm (合致式)
昭和44年(1969)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10" / 2mm (合致式)
	Zeiss製 NI2型 精密自動レベル	32倍	円形水準器 8
昭和53年(1978)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10" / 2mm (合致式)
平成5年(1993)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10" / 2mm (合致式)
	Carl Zeiss Jena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
平成7年(1995)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10" / 2mm (合致式)
	Carl Zeiss Jena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	Leica製 Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
平成8年(1996)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10" / 2mm (合致式)
	Carl Zeiss Jena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ペンタックス製 L-10型 精密レベル	42倍	10" / 2mm (合致式)
	Leica製 Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	カル・ツアイ製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成9年(1997)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10" / 2mm (合致式)
	Carl Zeiss Jena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	Leica製 Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	カル・ツアイ製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"

観測年度	レベル名称	望遠鏡倍率	水準器感度
平成11年(1999)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	カールツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア製 PL1型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	トプコン製 TS-E1型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
平成12年(2000)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カールツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成16年(2004)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カールツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成18年(2006)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カールツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア製 PL1型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)

観測年度	レベル名称	望遠鏡倍率	水準器感度
平成19年(2007)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Leica製Wild NA3003A型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成21年(2009)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Leica製Wild NA3003A型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成23年(2011)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.3"

観測年度	レベル名称	望遠鏡倍率	水準器感度
平成24年(2012)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カールツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Leica製 DNA03型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
平成26年(2014)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カールツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
平成27年(2015)	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カールツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成28年(2016)	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Leica製 DNA03型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.4"

観測年度	レベル名称	望遠鏡倍率	水準器感度
平成29年(2017)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ツアズ製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成30年(2018)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ツアズ製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成31・ 令和元年(2019)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ツアズ製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
令和2年(2020)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
令和3年(2021)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ツアズ製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"

B 水準標尺

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
大正13年(1924)以前	Carl Bamber製 水準標尺	3m	露国産自然乾燥赤楊	木部の表面に直接5mmごとに目盛る。
昭和27年(1952)	Carl Zeiss製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に2.5mmの差をもって5mmごとに目盛る。
昭和30年(1955)	Carl Zeiss製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
昭和42年(1967)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
昭和44年(1969)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Zeiss製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
昭和53年(1978)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
平成元年(1989)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Carl Zeiss Jena製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
平成3年(1991)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Carl Zeiss Jena製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソファ製 精密水準標尺	3m	ニュースーパー-インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
平成7年(1995)	Wild製 精密水準標尺	3m	ニュースーパー-インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Carl Zeiss Jena製 精密水準標尺	3m	ニュースーパー-インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソファ製 精密水準標尺	3m	ニュースーパー-インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バースト)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバーストを目盛る。

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
平成8年(1996)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	CarlZeissJena製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
	カールツァイス製 インバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
平成11年(1999)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
	カールツァイス製 インバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
平成12年(2000)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カールツァイス製 インバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
平成13年(2001)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
	カールツァイス製 インバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
平成16年(2004)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Zeiss製 精密水準標尺	3m	ニュースパール-インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソファ製 精密水準標尺	3m	ニュースパール-インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
	カルツァ製 インバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
平成21年(2009)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソファ製 精密水準標尺	3m	ニュースパール-インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
	カルツァ製 インバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
平成23年(2011)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
	カルツァ製 インバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
	ソファトプコン製 精密バースコート水準標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
平成24年(2012)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソファ製 精密水準標尺	3m	ニュースパール-インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
	カルツァ製 インバール(バースコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。
	ソファトプコン製 精密バースコート水準標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバースコートを目盛る。

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
平成25年(2013)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズパ°-インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カル・ツアイ製 インバール(パ°-コード°)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にパ°-コード°を目盛る。
	ソキア・ト°コ製 精密パ°-コード°水準標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にパ°-コード°を目盛る。
平成26年(2014)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズパ°-インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カル・ツアイ製 インバール(パ°-コード°)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にパ°-コード°を目盛る。
	ソキア・ト°コ製 精密パ°-コード°水準標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にパ°-コード°を目盛る。
	タマ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニューズパ°-インバール (巾 cm,長さ3m)	インバール帯にパ°-コード°を目盛る。
平成27年(2015)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズパ°-インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カル・ツアイ製 インバール(パ°-コード°)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にパ°-コード°を目盛る。
	タマ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニューズパ°-インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にパ°-コード°を目盛る。
平成28年(2016)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズパ°-インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(パ°-コード°)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にパ°-コード°を目盛る。
	カル・ツアイ製 インバール(パ°-コード°)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にパ°-コード°を目盛る。
	タマ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニューズパ°-インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にパ°-コード°を目盛る。

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
平成29年(2017)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カル・ツアイ製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	タマ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
平成30年(2018)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カル・ツアイ製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	タマ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
平成31・ 令和元年(2019)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カル・ツアイ製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	タマ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
令和2年(2020)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カル・ツアイ製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	タマ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	トリプルピケーション製 精密バーコード水準標尺	2m	インバール (巾2.2cm,長さ2m)	インバール帯にバーコードを目盛る。

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
令和3年(2021)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カルツァイ製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	タマ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	トリプルピケション製 精密バーコード水準標尺	2m	インバール (巾2.2cm,長さ2m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	Trimble製 インバール(バーコード)テープ標尺	1m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm,長さ1m)	インバール帯にバーコードを目盛る。

(2) 観測法

<p style="text-align: center;">観測器械</p> <p style="text-align: center;">区分</p>	<p style="text-align: center;">Carl Bamberg</p>	<p style="text-align: center;">Carl Zeiss</p>	<p style="text-align: center;">Wild N3</p>	<p style="text-align: center;">Wild N3 Zeiss NI2 Carl Zeiss Jena NI002,NI002A ヘンタックス L-10 Leica NA3003,NA3003A DNA03 カル・ツァイス DiNi11 ツァイス DiNi12 ソキア PL1 トプコン TS-E1 Trimble DiNi0.3 ソキア・トプコン SDL1X</p>
<p style="text-align: center;">視準順序</p>	<p style="text-align: center;">上方分画 - 下方分画</p>	<p style="text-align: center;">後視 - 前視 - 前視 - 後視</p>	<p style="text-align: center;">後視 - 前視 - 前視 - 後視</p>	<p style="text-align: center;">後視 - 前視 - 前視 - 後視</p>
<p style="text-align: center;">設定単位</p>	<p style="text-align: center;">0.01mm</p>	<p style="text-align: center;">0.01mm</p>	<p style="text-align: center;">昭和 35 年 以前は 0.1mm</p>	<p style="text-align: center;">0.1mm</p>
<p style="text-align: center;">標尺距離 (平坦地)</p>	<p style="text-align: center;">最大 40m</p>	<p style="text-align: center;">最大 40m</p>	<p style="text-align: center;">昭和 45 年 以前は 60m</p>	<p style="text-align: center;">最大 50m (電子レベルで最大 40m)</p>
<p style="text-align: center;">往復差の許容範囲 S は片道の観測 距離で km 単位</p>	<p style="text-align: center;">$1.5\sqrt{2S}$ mm</p>	<p style="text-align: center;">$1.5\sqrt{2S}$ mm</p>	<p style="text-align: center;">昭和 35 年 以前は $1.5\sqrt{2S}$ mm 昭和 36 年 から昭和 39 年 まで は $2.0\sqrt{2S}$ mm</p>	<p style="text-align: center;">$2.5\sqrt{S}$ mm</p>
<p style="text-align: center;">環閉合の許容範囲</p>	<p style="text-align: center;">$1.5\sqrt{S}$ mm</p>	<p style="text-align: center;">$1.5\sqrt{S}$ mm</p>	<p style="text-align: center;">$2.0\sqrt{S}$ mm</p>	<p style="text-align: center;">$2.0\sqrt{S}$ mm</p>

2. 観測区域及び期間

観測区域及び期間

変動図 番号	観測区間		不動とした 水準点番号	距離 (km)	観測期間
	水準点番号	所在地			
22-01-01	自 950115A 至 準基191	北海道標津郡標津町 北海道根室市	950115A	62	自 2022年 6月 至 2022年 7月
22-01-02	自 7585 至 釧路検潮所球分体	北海道釧路市 北海道釧路市	基80	49	自 2022年 7月 至 2022年 7月
22-01-03	自 基80 至 準基191	北海道釧路市 北海道根室市	準基191	93	自 2022年 6月 至 2022年 7月
22-01-04	自 準基191 至 花咲検潮所球分体	北海道根室市 北海道根室市	準基191	40	自 2022年 7月 至 2022年 7月
22-01-05	自 7968 至 8039	北海道日高郡新ひだか町 北海道広尾郡広尾町	7968	143	自 2022年 10月 至 2022年 11月
22-02-01	自 950163A 至 5504	岩手県盛岡市 岩手県岩手郡岩手町	950163A	9.2	自 2022年 7月 至 2022年 7月
22-03-01	自 4418 至 4426	新潟県新潟市北区 新潟県新潟市西区	4426	27	自 2022年 8月 至 2022年 9月
22-03-02	自 2163 至 2027	新潟県新潟市秋葉区 新潟県阿賀野市	2163	15	自 2022年 8月 至 2022年 8月
22-04-01	自 2028 至 2028	茨城県古河市 茨城県古河市	2028	45	自 2022年 8月 至 2022年 9月
22-04-02	自 2025 至 2028	埼玉県加須市 茨城県古河市	2028	21	自 2022年 9月 至 2022年 9月
22-04-03	自 交483 至 交4	埼玉県さいたま市北区 東京都千代田区	交483	35	自 2022年 7月 至 2022年 8月
22-04-04	自 交4 至 基25	東京都千代田区 神奈川県横浜市保土ヶ谷区	交4	46	自 2022年 9月 至 2022年 10月
22-04-05	自 交35-7 至 油壺験潮場固定点	神奈川県横浜市戸塚区 神奈川県三浦市	970804A	73	自 2022年 8月 至 2022年 9月
22-04-06	自 基26 至 960759A	神奈川県三浦市 神奈川県三浦市	基26	0.24	自 2022年 9月 至 2022年 9月
22-05-01	自 交52 至 93053A	静岡県熱海市 静岡県賀茂郡河津町	交52	67	自 2022年 6月 至 2022年 8月
22-05-02	自 交52 至 93043A	静岡県熱海市 静岡県駿東郡清水町	交52	38	自 2022年 8月 至 2022年 9月

変動図 番号	観測区間		不動とした 水準点番号	距離 (km)	観測期間
	水準点番号	所在地			
22-05-03	自 93043A 至 焼津験潮場固定点	静岡県駿東郡清水町 静岡県焼津市	交70-1	105	自 2022年 5月 至 2022年 7月
22-05-04	自 2569 至 準基1354	静岡県焼津市 静岡県牧之原市	2569	41	自 2022年 7月 至 2022年 7月
22-05-05	自 970819A 至 御前崎検潮所標石	静岡県周智郡森町 静岡県御前崎市	5268	64	自 2022年 5月 至 2022年 6月
22-05-06	自 2595 至 御前崎検潮所標石	静岡県御前崎市 静岡県御前崎市	2595	12	自 2022年 6月 至 2022年 6月
22-05-07	自 970819A 至 御前崎検潮所標石	静岡県周智郡森町 静岡県御前崎市	5268	63	自 2022年 10月 至 2022年 11月
22-05-08	自 2595 至 御前崎検潮所標石	静岡県御前崎市 静岡県御前崎市	2595	12	自 2022年 11月 至 2022年 11月
22-05-09	自 93093A 至 2602-1	静岡県掛川市 静岡県菊川市	2602-1	2.5	自 2022年 5月 至 2022年 5月
22-05-10	自 93093A 至 2602-1	静岡県掛川市 静岡県菊川市	2602-1	2.5	自 2022年 10月 至 2022年 10月
22-05-11	自 伊東験潮場固定点 至 9341-1	静岡県伊東市 静岡県伊東市	9341-1	1.3	自 2022年 7月 至 2022年 7月
22-06-01	自 191-2 至 4676	岐阜県不破郡垂井町 岐阜県養老郡養老町	191	12	自 2022年 11月 至 2022年 11月
22-06-02	自 191 至 950291A	岐阜県大垣市 岐阜県不破郡垂井町	191	1.1	自 2022年 11月 至 2022年 11月
22-06-03	自 176 至 1471	愛知県名古屋市中区 愛知県弥富市	176	91	自 2022年 10月 至 2022年 12月
22-06-04	自 交174-1 至 950309A	愛知県名古屋市中区 三重県四日市市	交174-1	65	自 2022年 12月 至 2023年 1月
22-06-05	自 3357 至 4674	岐阜県羽島市 岐阜県大垣市	4674	16	自 2022年 11月 至 2022年 11月
22-07-01	自 950316A 至 121193A	三重県南牟婁郡紀宝町 和歌山県田辺市	交4810	137	自 2022年 9月 至 2022年 11月
22-07-02	自 白浜検潮所球分体 至 9186	和歌山県東牟婁郡白浜町 和歌山県田辺市	9186	5.5	自 2022年 9月 至 2022年 9月

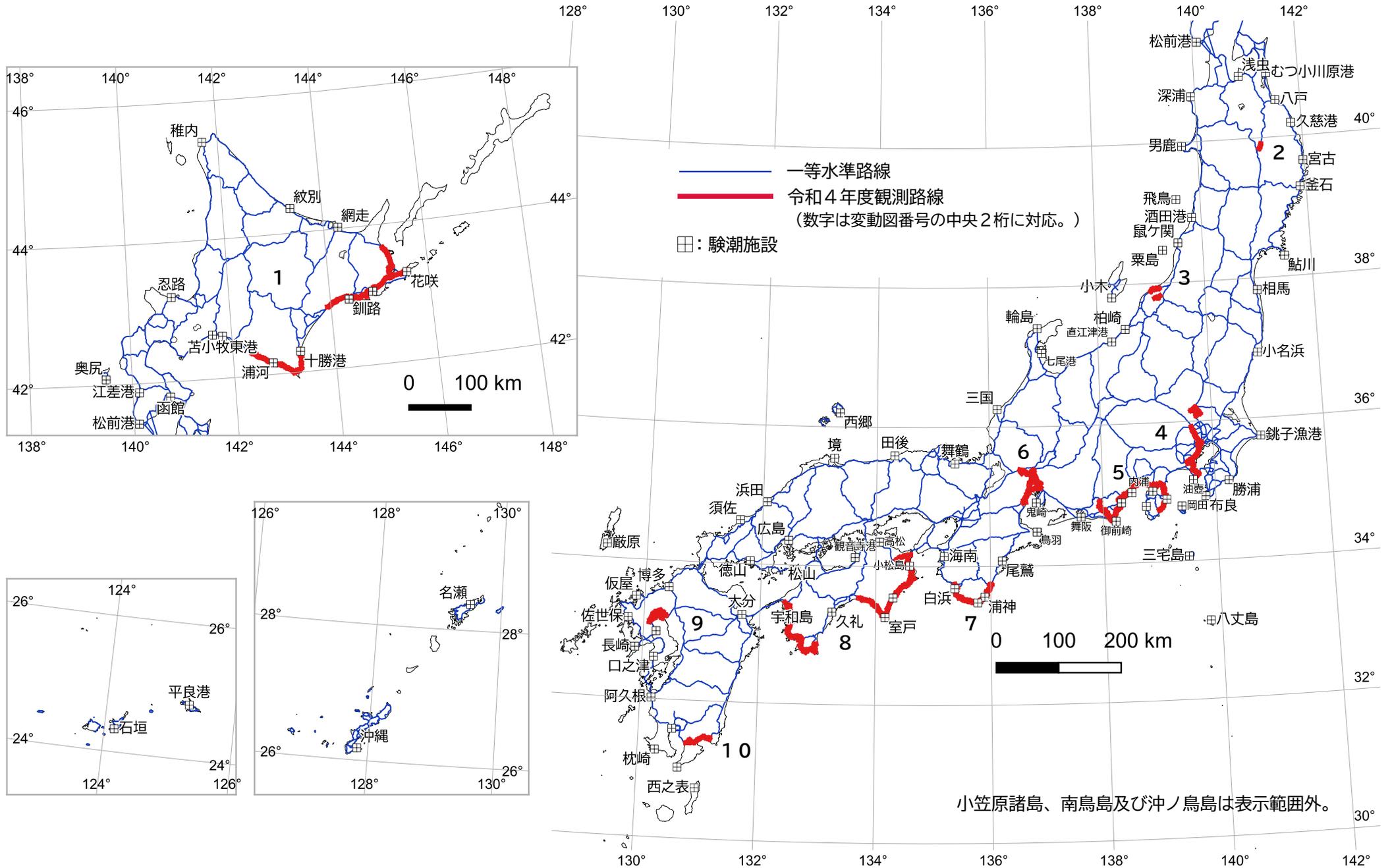
変動図 番号	観測区間		不動とした 水準点番号	距離 (km)	観測期間
	水準点番号	所在地			
22-07-03	自 浦神検潮所球分体 至 4980	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町	4980	0.42	自 2022年 10月 至 2022年 10月
22-07-04	自 串本検潮所球分体 至 附3	和歌山県東牟婁郡串本町 和歌山県東牟婁郡串本町	附3	0.03	自 2022年 10月 至 2022年 10月
22-08-01	自 303 至 315	徳島県鳴門市 徳島県阿波市	交5066	25	自 2022年 8月 至 2022年 8月
22-08-02	自 交5066 至 950423A	徳島県鳴門市 徳島県海部郡美波町	交5066	76	自 2022年 6月 至 2022年 9月
22-08-03	自 5076 至 小松島検潮所固定点	徳島県小松島市 徳島県小松島市	5076	2.1	自 2022年 7月 至 2022年 7月
22-08-04	自 031120A 至 950423A	高知県香南市 徳島県海部郡美波町	031120A	173	自 2022年 9月 至 2022年 11月
22-08-05	自 5145 至 940082A	高知県室戸市 高知県室戸市	5145	6.8	自 2022年 11月 至 2022年 11月
22-08-06	自 5142 至 室戸岬検潮所固定点	高知県室戸市 高知県室戸市	5142	0.30	自 2022年 11月 至 2022年 11月
22-08-07	自 交4569 至 4588	愛媛県八幡浜市 愛媛県宇和島市	交4569	44	自 2022年 10月 至 2022年 11月
22-08-08	自 4588 至 960681A	愛媛県宇和島市 愛媛県宇和島市	基44	9	自 2022年 10月 至 2022年 11月
22-08-09	自 960681A 至 031125A	高知県宇和島市 高知県土佐清水市	交4619	173	自 2022年 10月 至 2022年 12月
22-08-10	自 御荘港検潮所球分体 至 4608	愛媛県南宇和郡愛南町 愛媛県南宇和郡愛南町	4608	1.2	自 2022年 11月 至 2022年 11月
22-08-11	自 土佐清水検潮所球分体 至 10933	高知県土佐清水市 高知県土佐清水市	10933	0.01	自 2022年 11月 至 2022年 11月
22-09-01	自 3352 至 基52	福岡県大川市 佐賀県杵島郡白石町	基52	53	自 2022年 11月 至 2022年 12月
22-09-02	自 3350 至 3332	佐賀県佐賀市 佐賀県杵島郡白石町	3350	47	自 2022年 12月 至 2023年 1月

変動図 番号	観測区間		不動とした 水準点番号	距離 (km)	観測期間
	水準点番号	所在地			
22-09-03	自 3342 至 2000	佐賀県佐賀市 佐賀県小城市	3342	3.5	自 2022年 12月 至 2022年 12月
22-10-01	自 2514 至 9138	鹿児島県鹿屋市 宮崎県串間市	2514	62	自 2022年 10月 至 2022年 11月

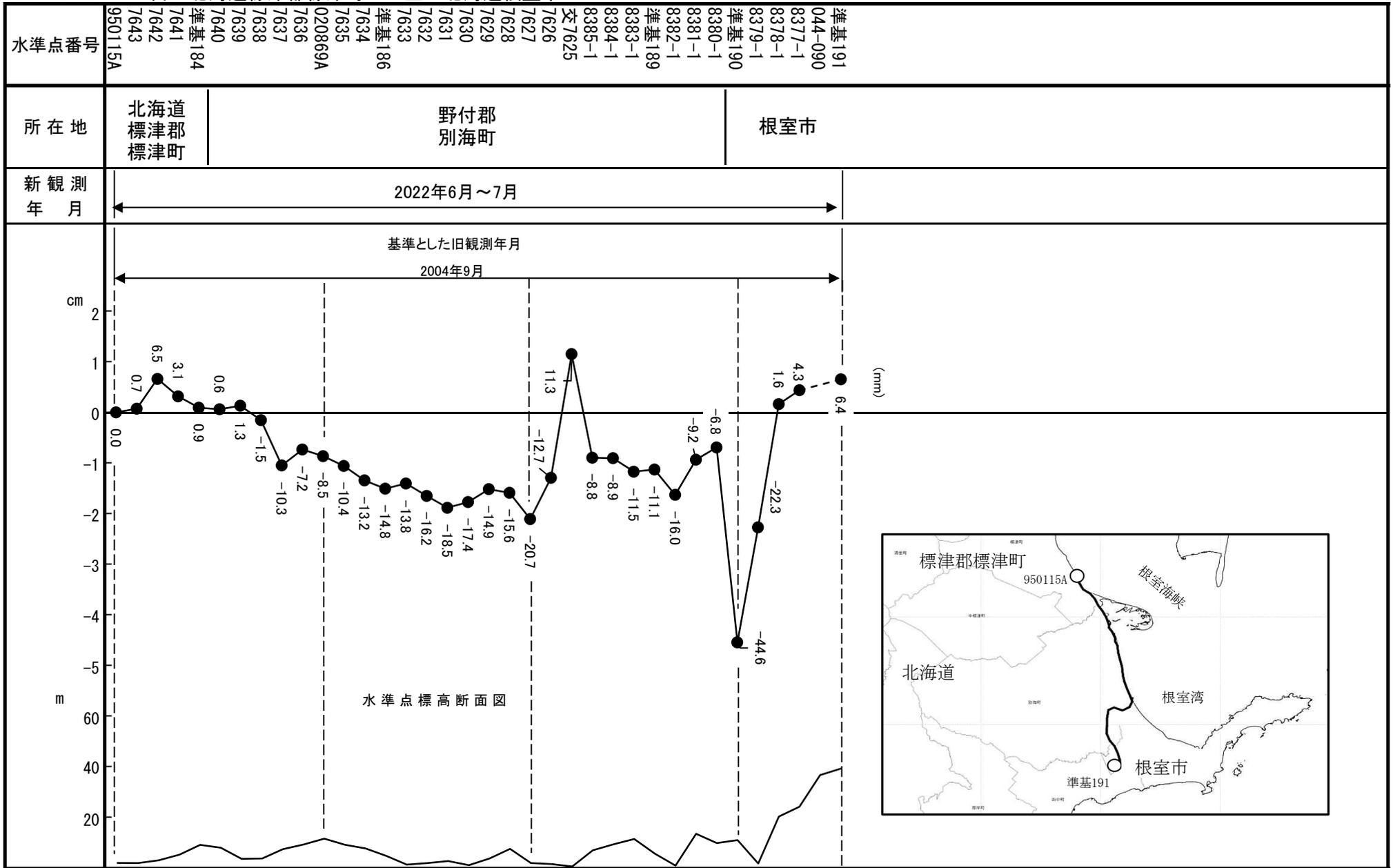
3. 水準点変動図の説明

- (1) 変動量は、仮不動点の標高を基準とし、水準点間の今回の観測比高から算出される新水準点標高と前回の観測比高から算出される旧水準点標高の差から求めている。
- (2) 水準点が再設や傾斜改埋等のため比較不能のものについては、点線で示し、それらが図の両端にあるときは空白とした。
- (3) 前回観測から今回観測の間に移転改埋を行った点は白ぬきで表示した。
- (4) 昭和 39 年度から、建設省道路局長（当時）と国土地理院長の覚書により、道路管理者が 1km 毎に設けた距離標に併設した一等水準点（道路水準点）には、国道番号と連番号をハイフンで繋げた「001-181」のような番号を付けている。
- (5) 変動量が特に大きい場合は、図を見やすくするため変動量グラフの縦軸目盛りの間隔を通常の 1cm より変更している。

一等水準路線図

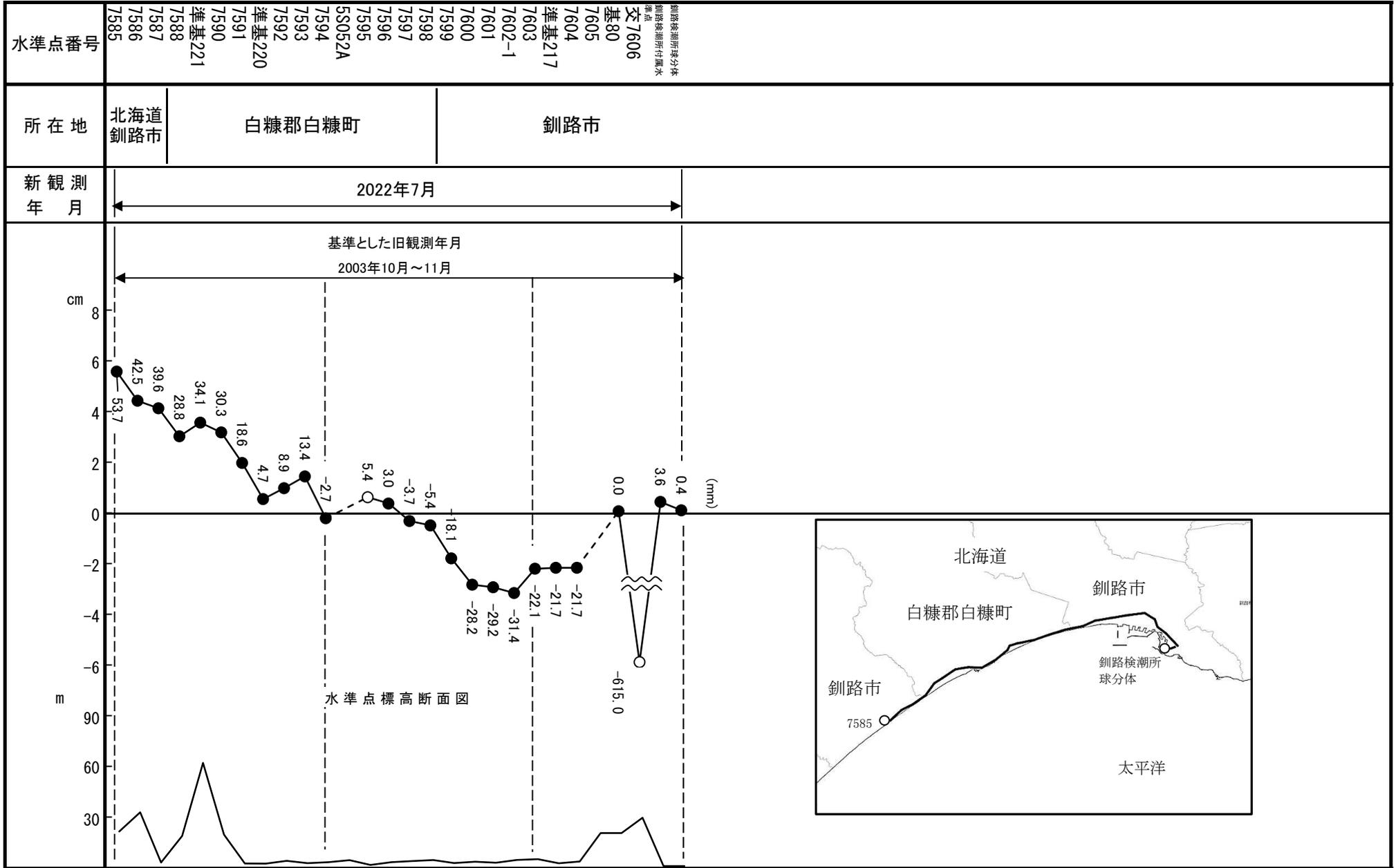


22-01-01 自 北海道標津郡標津町 至 北海道根室市



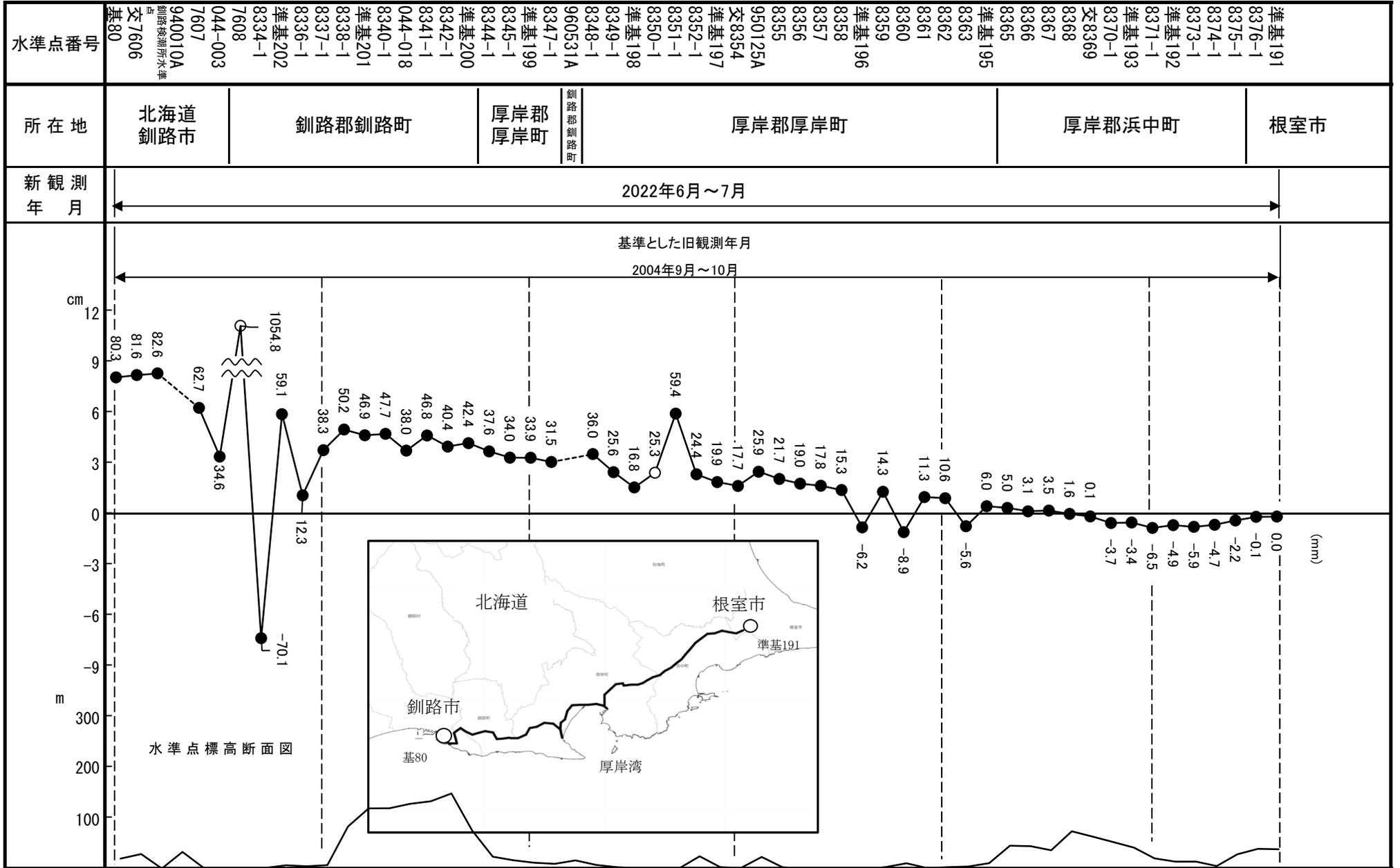
22-01-02

自 北海道釧路市 至 北海道釧路市



22-01-03

自 北海道釧路市 至 北海道根室市



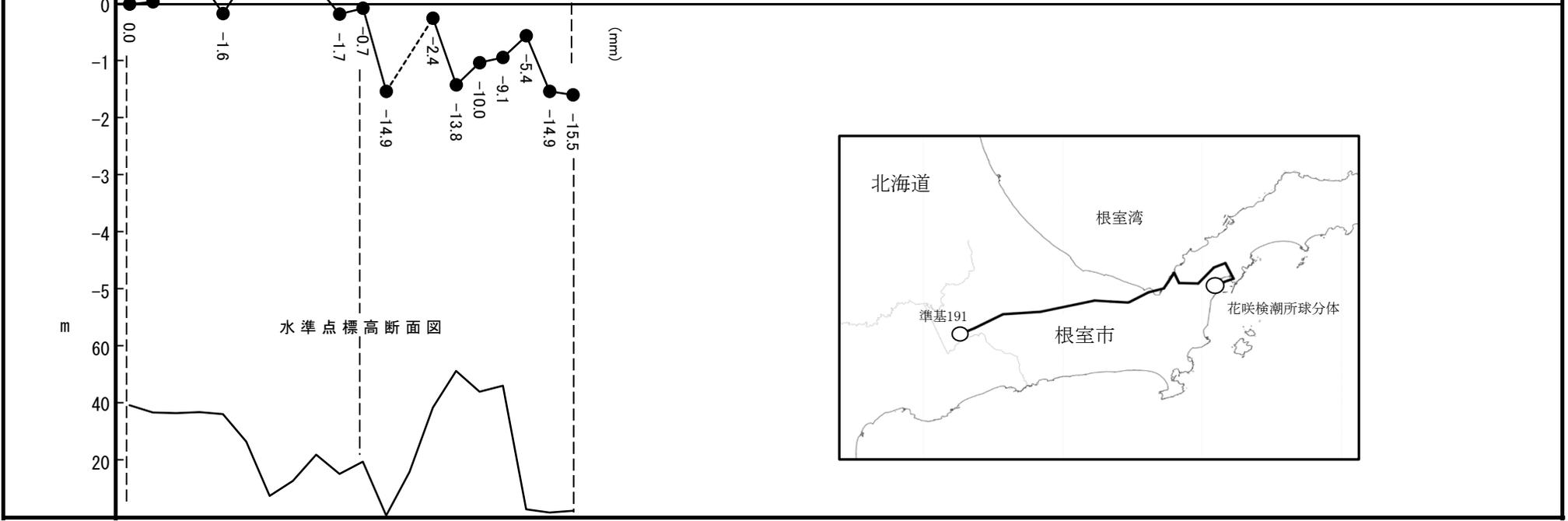
22-01-04

自 北海道根室市 至 北海道根室市

水準点番号	準基191 044-090 960512A 基81 7622-1 7620-1 7618-1 7617-1 7616-1 044-108 交7615 7614 101182A 7613 7612 7611 7610 附10 付風水準点 花咲換潮所 球分体 花咲換潮所
-------	--

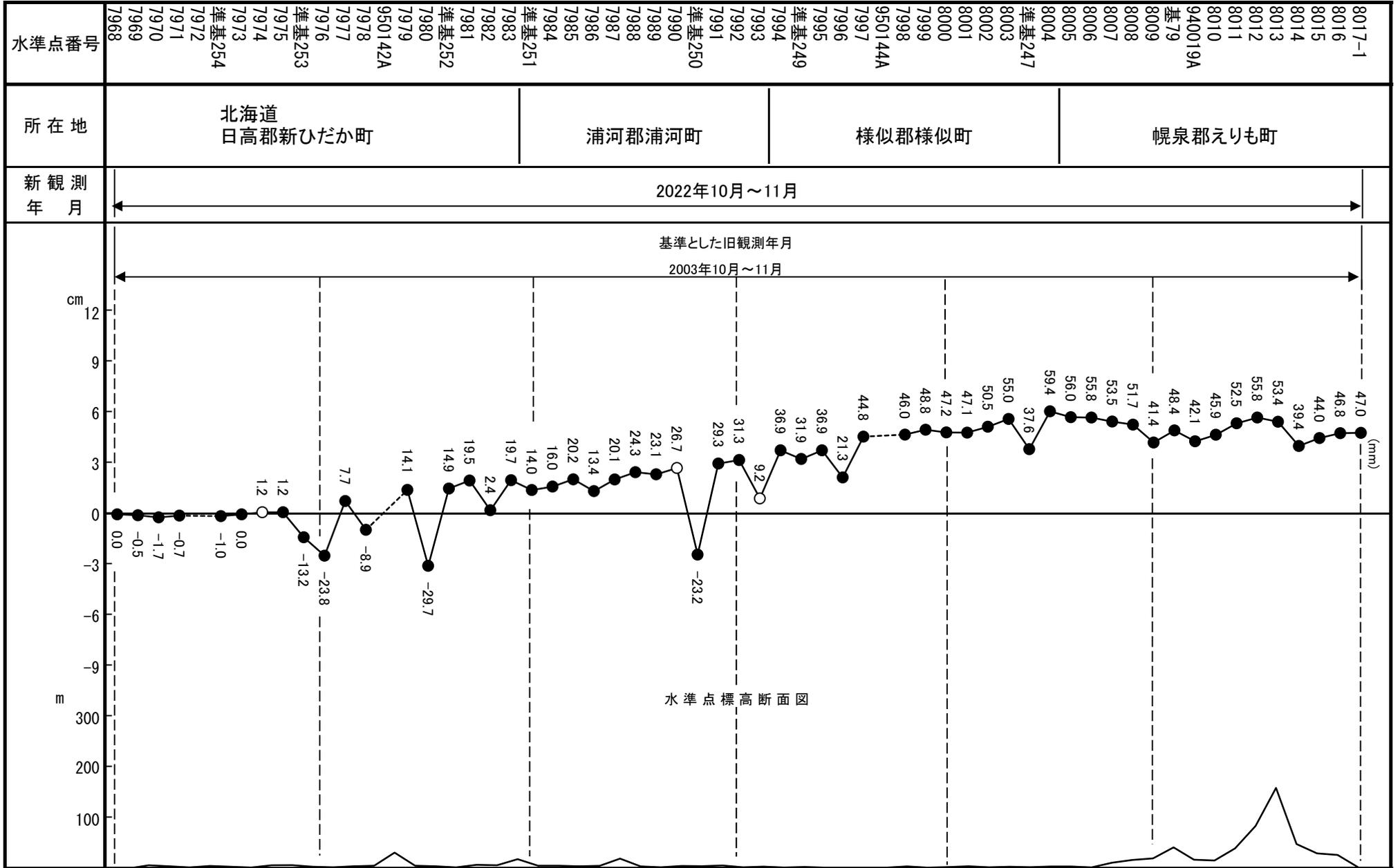
所在地	北海道根室市
-----	--------

新観測年月	2022年7月
-------	---------

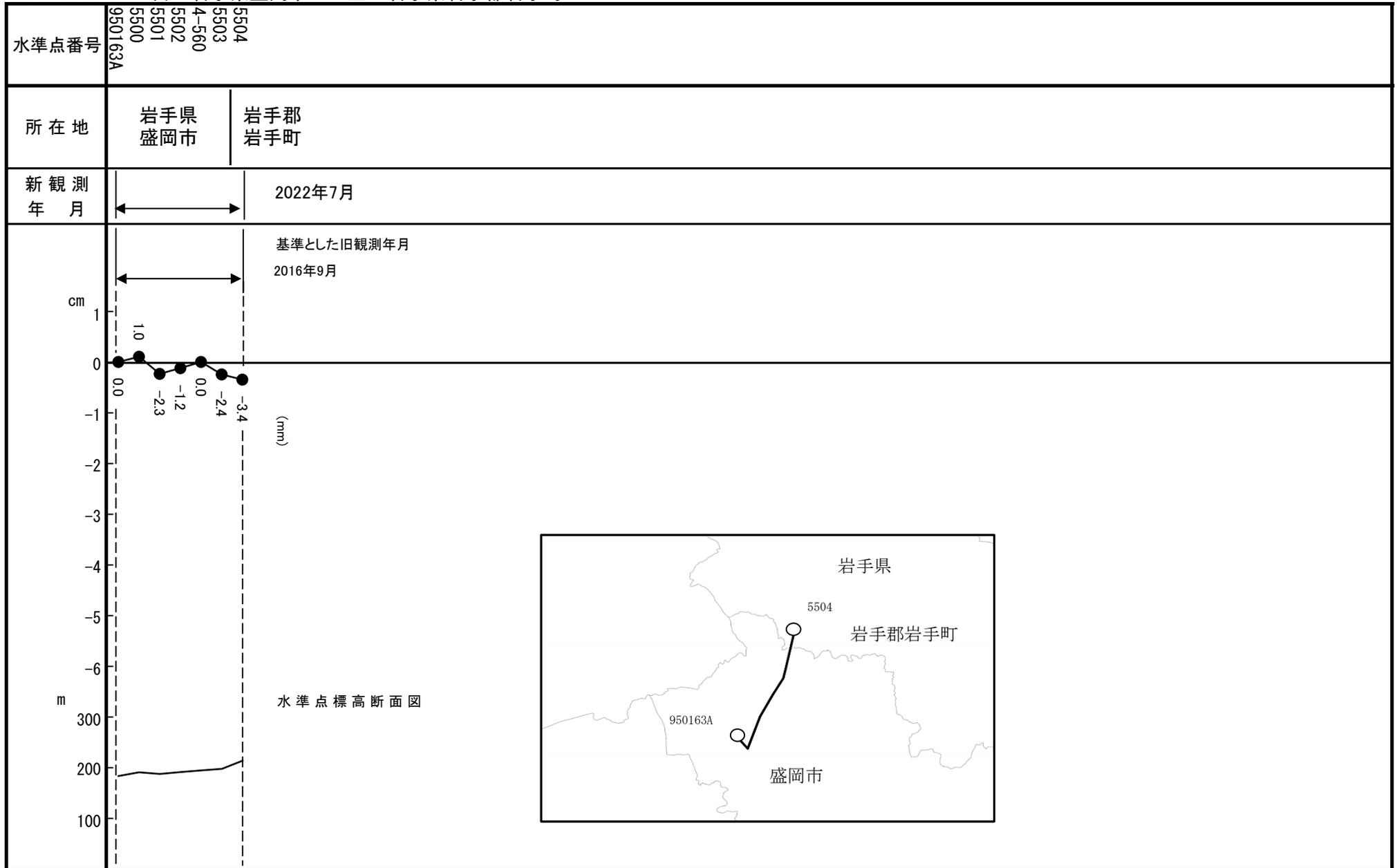


22-01-05

自 北海道日高郡新ひだか町 至 北海道広尾郡広尾町

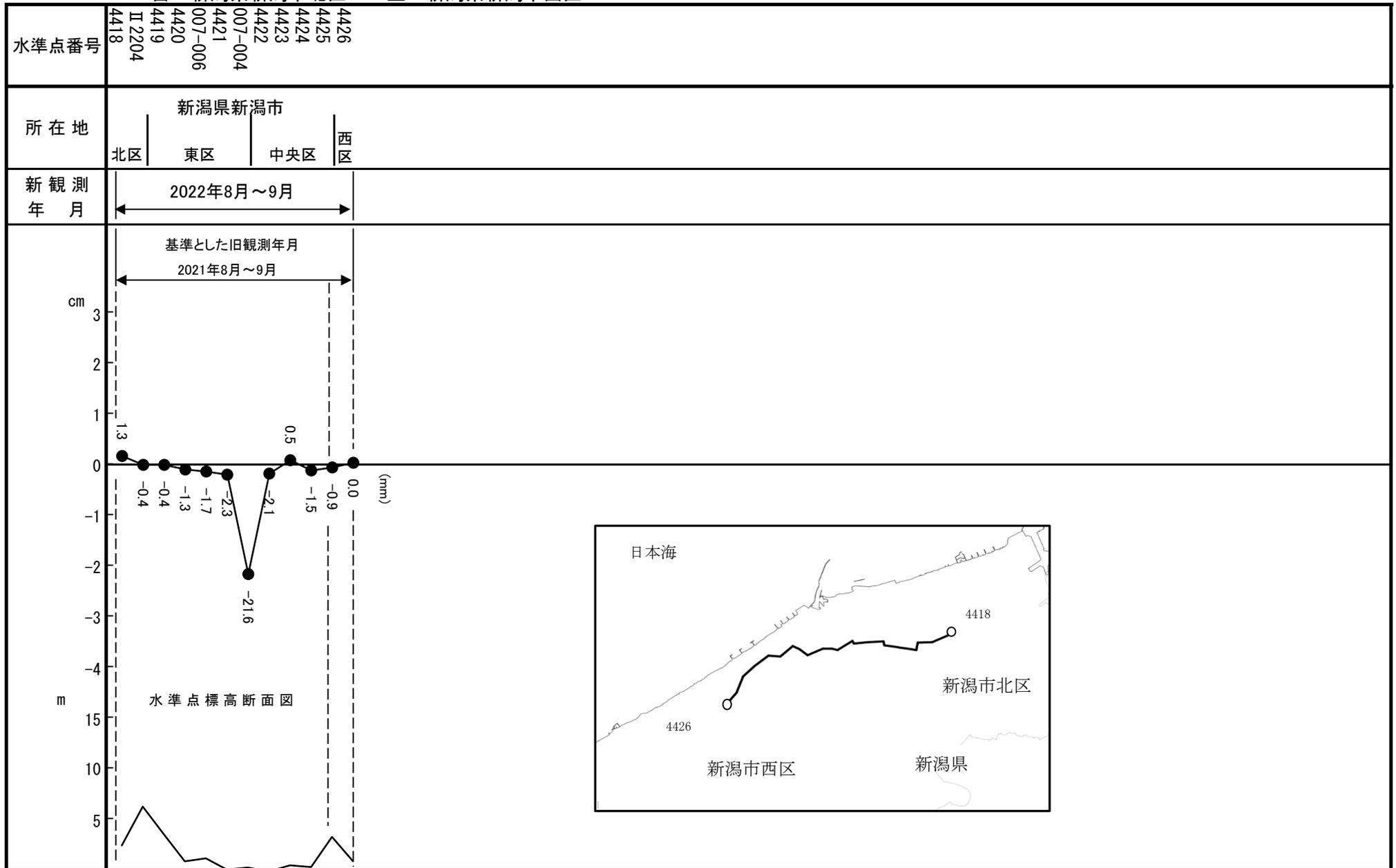


22-02-01 自 岩手県盛岡市 至 岩手県岩手郡岩手町



22-03-01

自 新潟県新潟市北区 至 新潟県新潟市西区



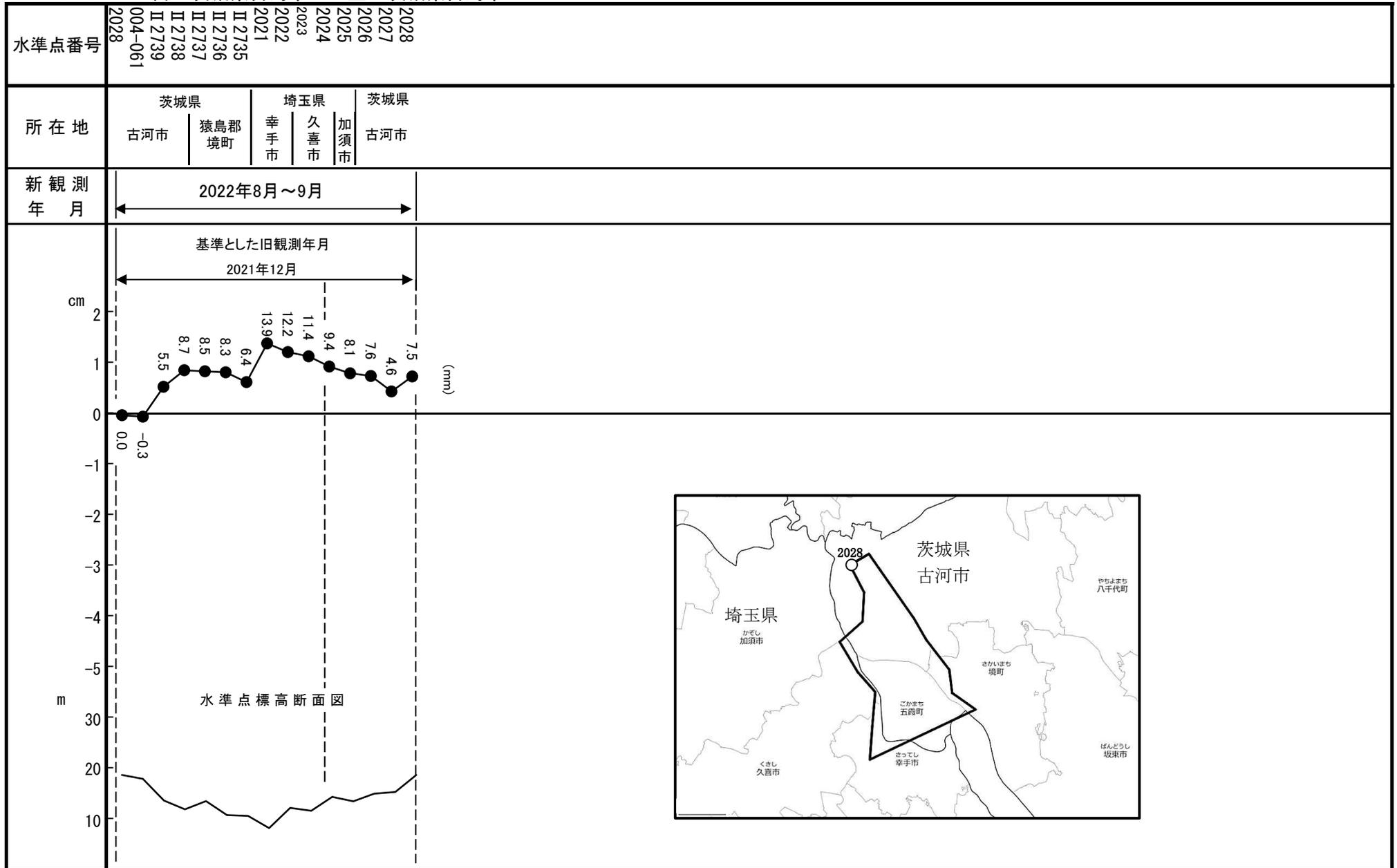
22-03-02

自 新潟県新潟市秋葉区 至 新潟県阿賀野市

水準点番号	II 2027 II 2026 II 2025 II 2161 II 2162 II 2163
所在地	新潟県 新潟市 秋葉区 阿賀野市
新観測年月	2022年8月
旧観測年月	2021年8月
水準点標高断面図	

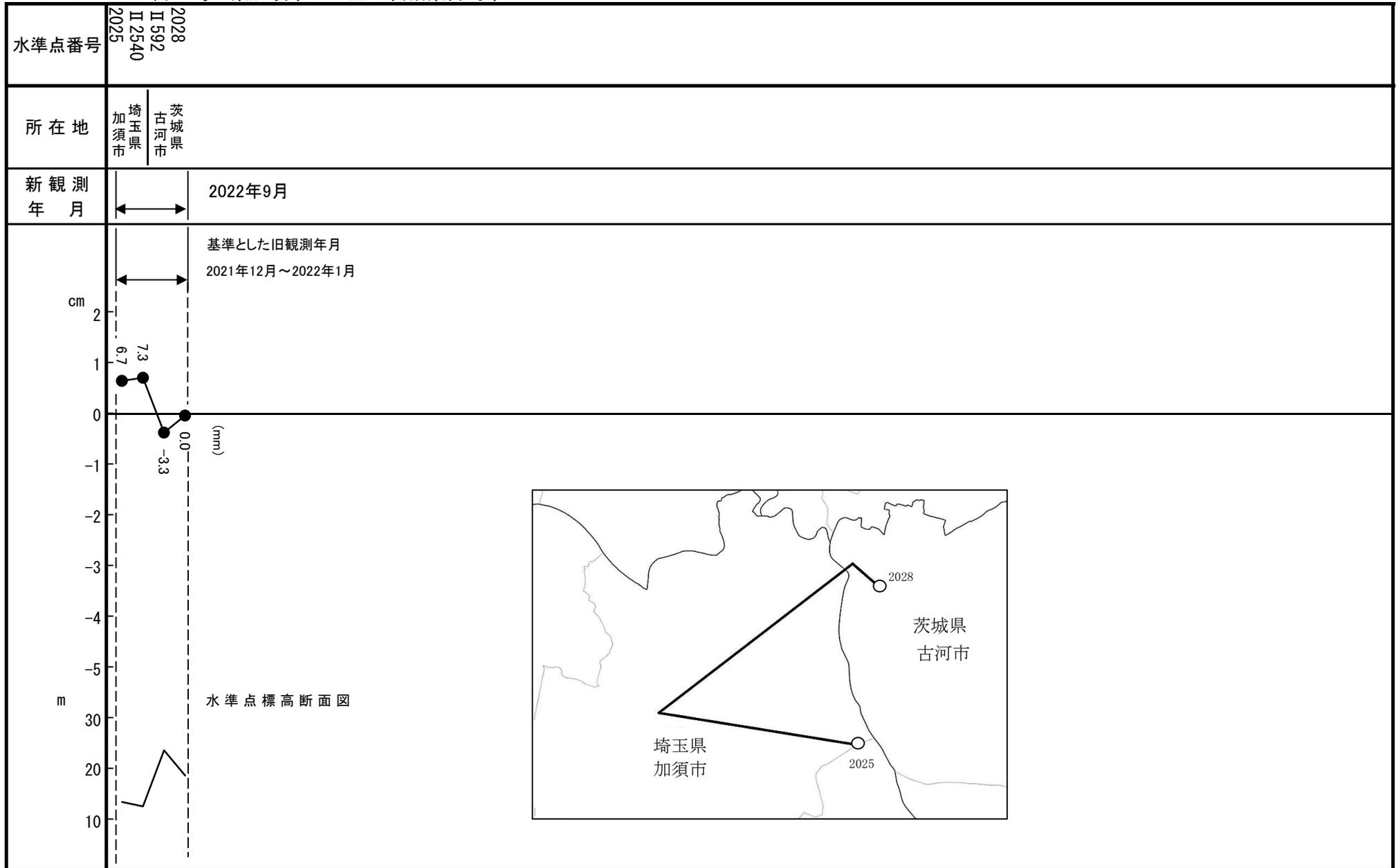
22-04-01

自 茨城県古河市 至 茨城県古河市



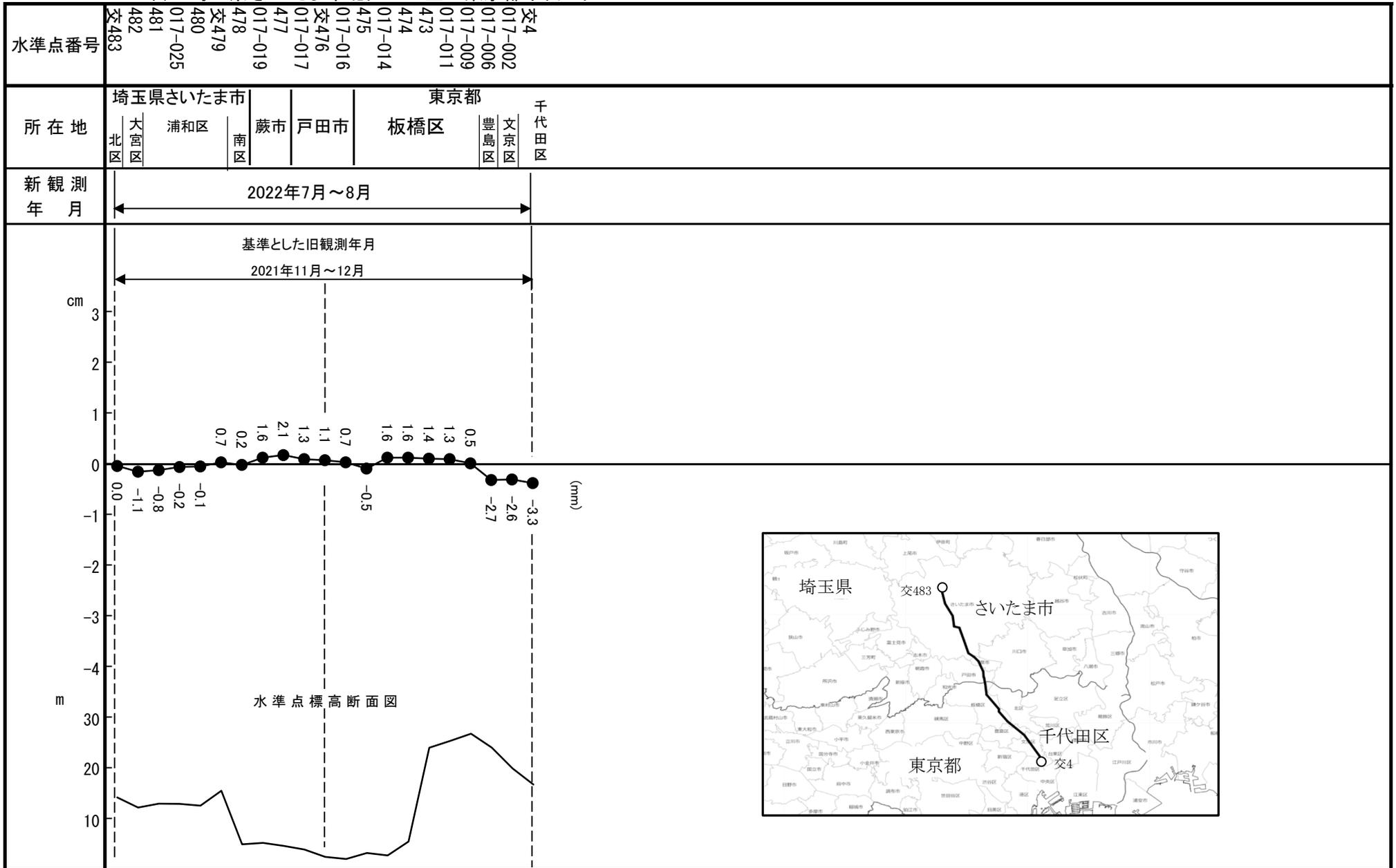
22-04-02

自 埼玉県加須市 至 茨城県古河市



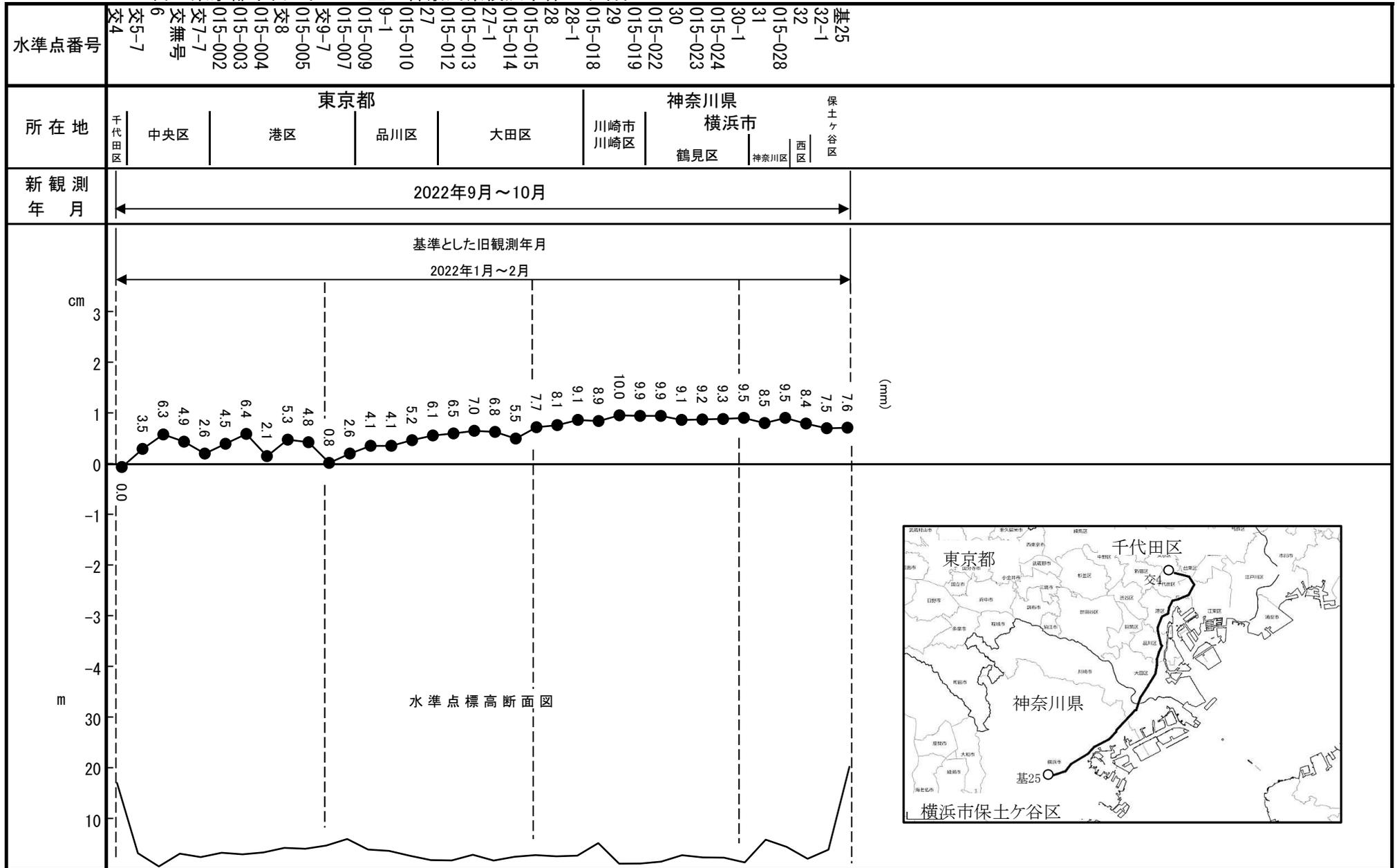
22-04-03

自 埼玉県さいたま市北区 至 東京都千代田区



22-04-04

自 東京都千代田区 至 神奈川県横浜市保土ヶ谷区

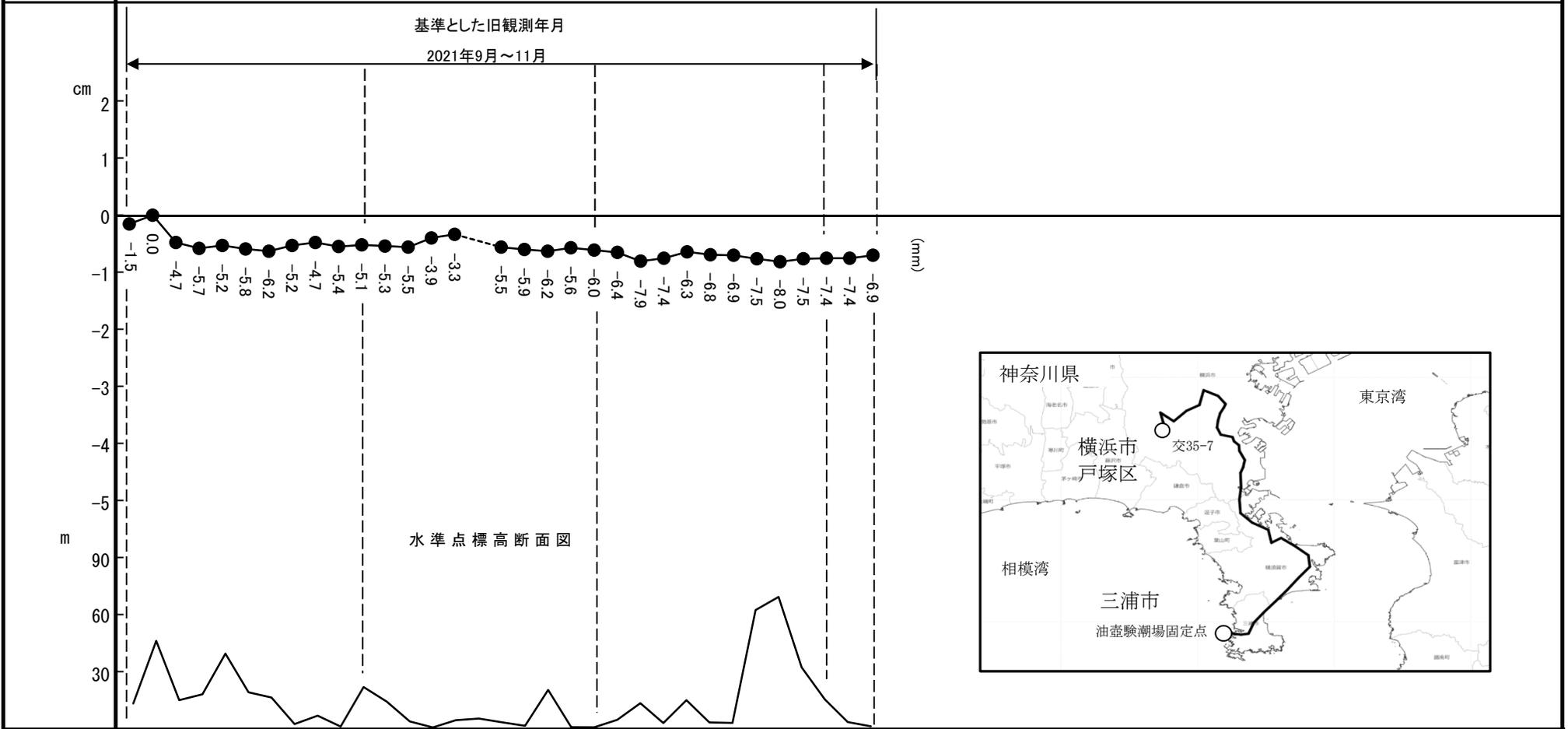


22-04-05

自 神奈川県横浜市戸塚区 至 神奈川県三浦市

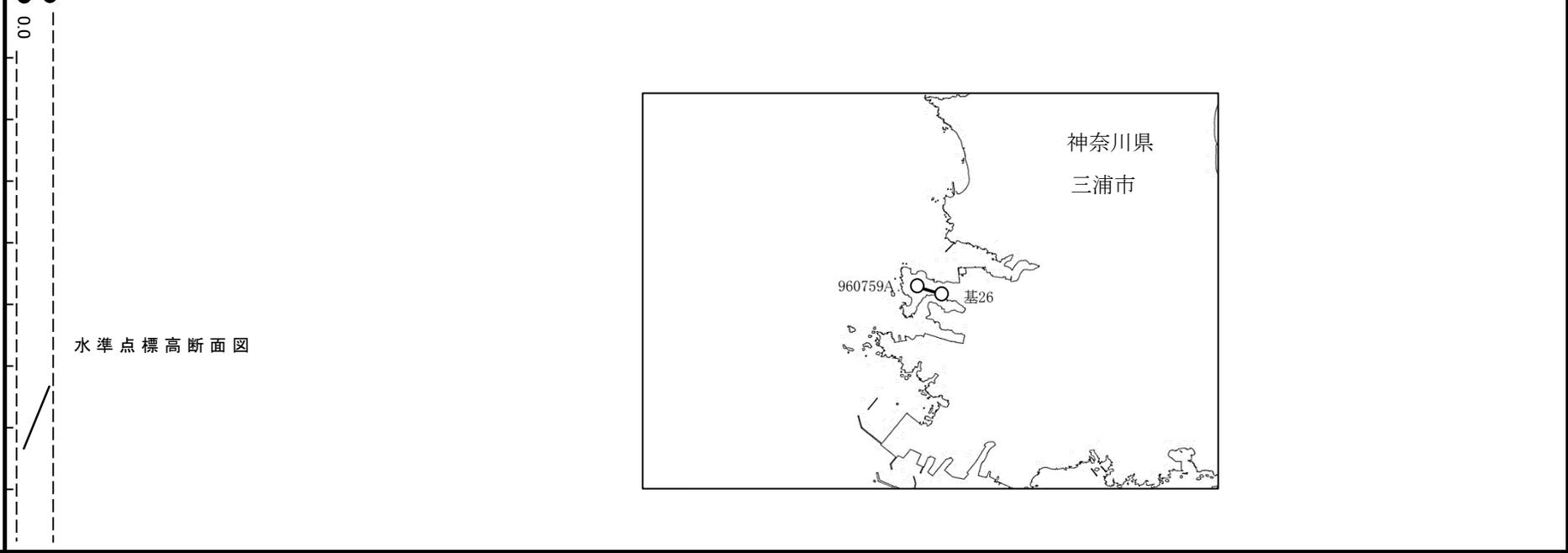
水準点番号	交35-7 970804A 34-1 34 33-1 基25 10828 10829 10830 10832 10833 10834 10835 10836 10837 10838 10839 10840 93067A 10841 10842 10843 10844 10845 10846 10847 10848 10849 5367-2 A-3 基26 附2 油壺験潮場 固定点
所在地	神奈川県 横浜市 横須賀市 三浦市
	戸塚区 泉区 戸塚区 保土ヶ谷区 南区 港南区 磯子区 金沢区

新観測年月	2022年8月~9月
-------	------------



22-04-06

自 神奈川県三浦市 至 神奈川県三浦市

水準点番号	960759A 基26
所在地	神奈川県 三浦市
新観測年月	2022年9月
水準点標高断面図	基準とした旧観測年月 2021年11月
	

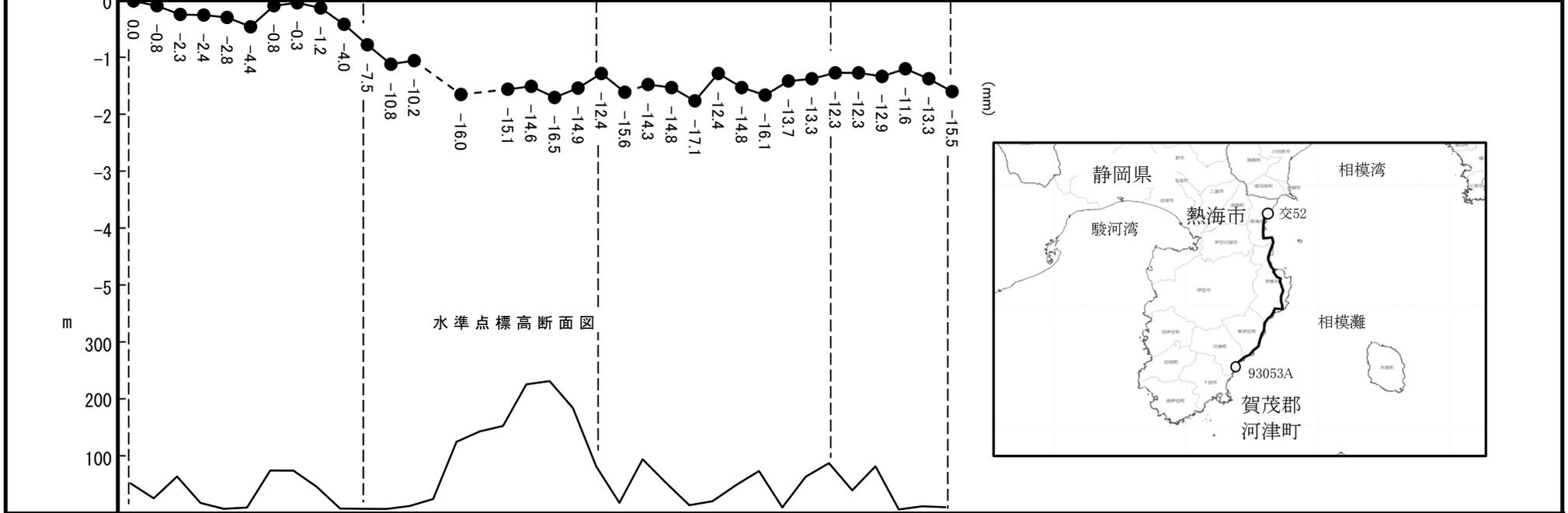
22-05-01

自 静岡県熱海市 至 静岡県賀茂郡河津町

水準点番号	交52 52-2 9327 9328 9329 9330 9330-1 9331 9332 9333 9334 I48-003-000 9335 101183A 9336 II10823 9337 9338 9339 9340 9341-1 93062A 9341 9342 9343 9344 9345 9346 9347 9348 9349 9350 9351 9352 9353 93053A
所在地	静岡県熱海市 伊東市 賀茂郡 東伊豆町 賀茂郡 河津町

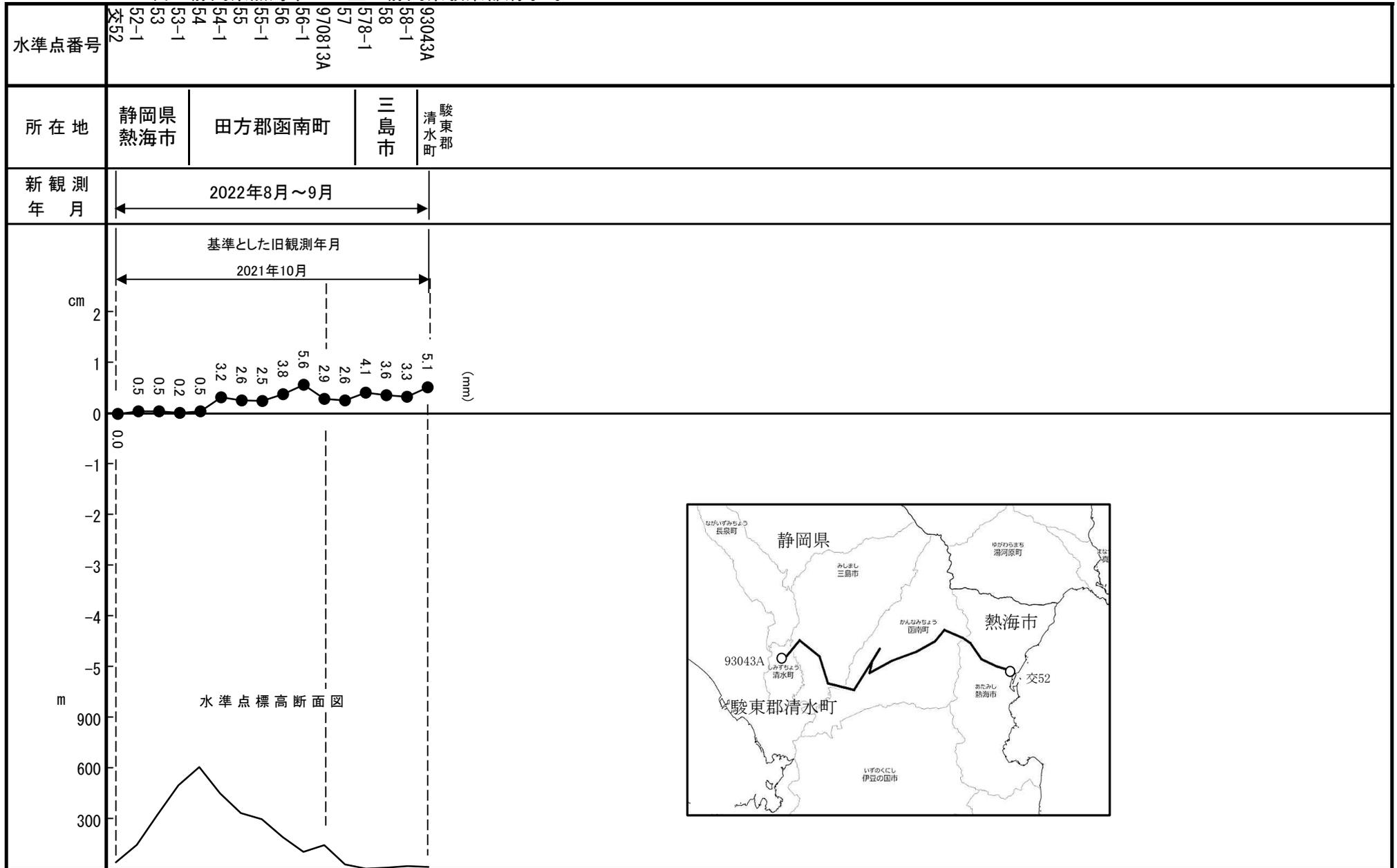
新観測年月	2022年6月~8月
-------	------------

基準とした旧観測年月	2015年9月~11月
------------	-------------



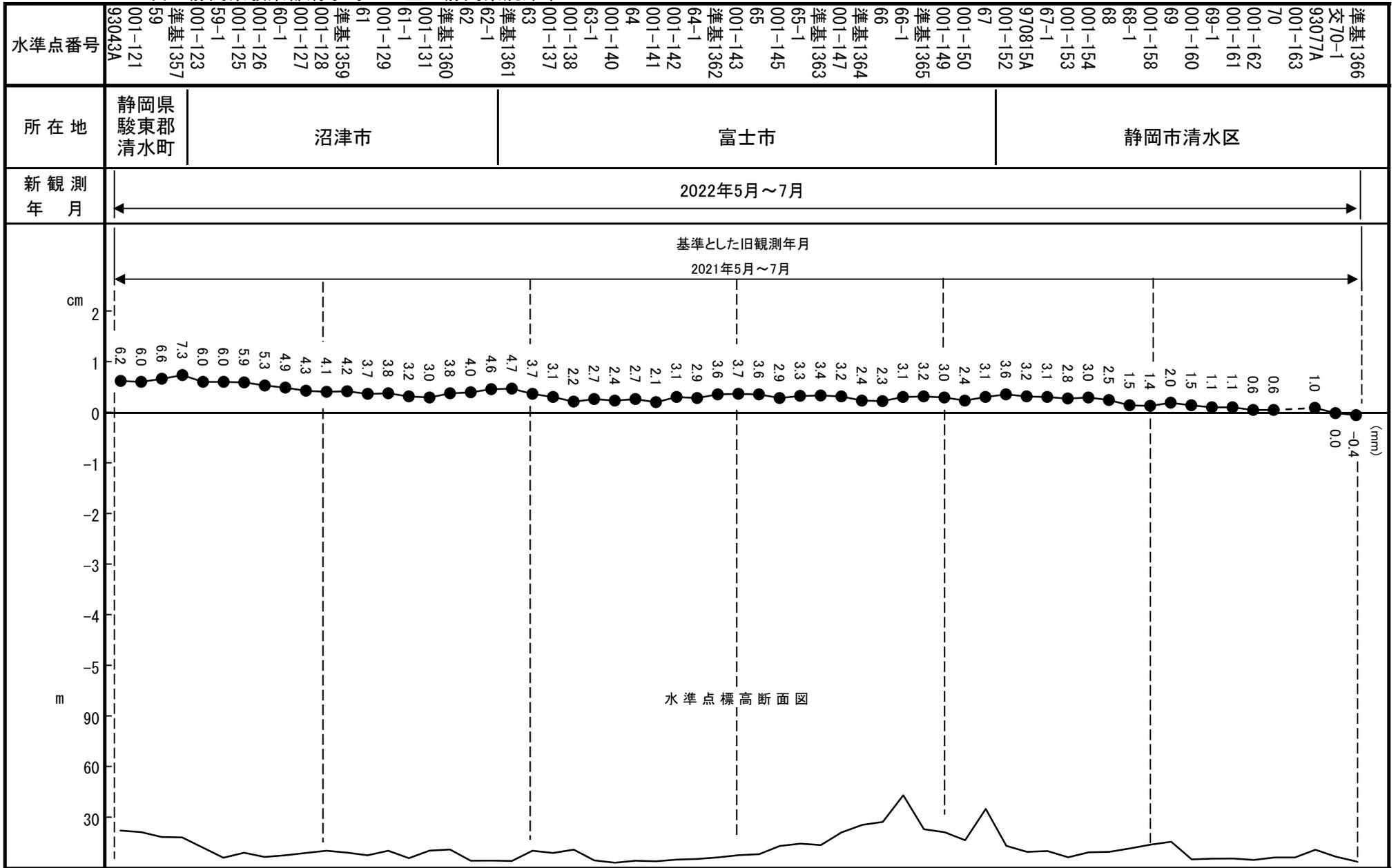
22-05-02

自 静岡県熱海市 至 静岡県駿東郡清水町



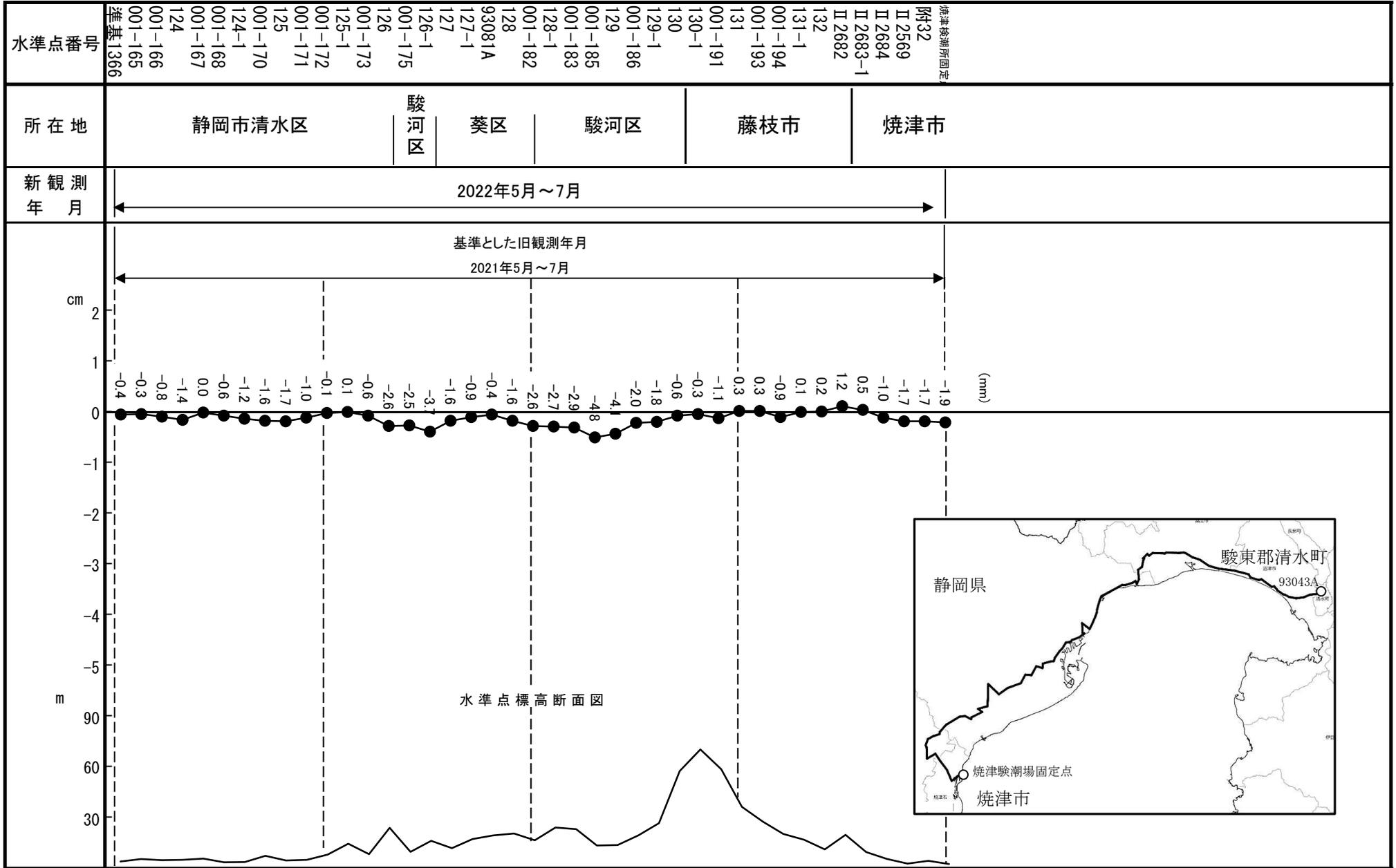
22-05-03

自 静岡県駿東郡清水町 至 静岡県焼津市



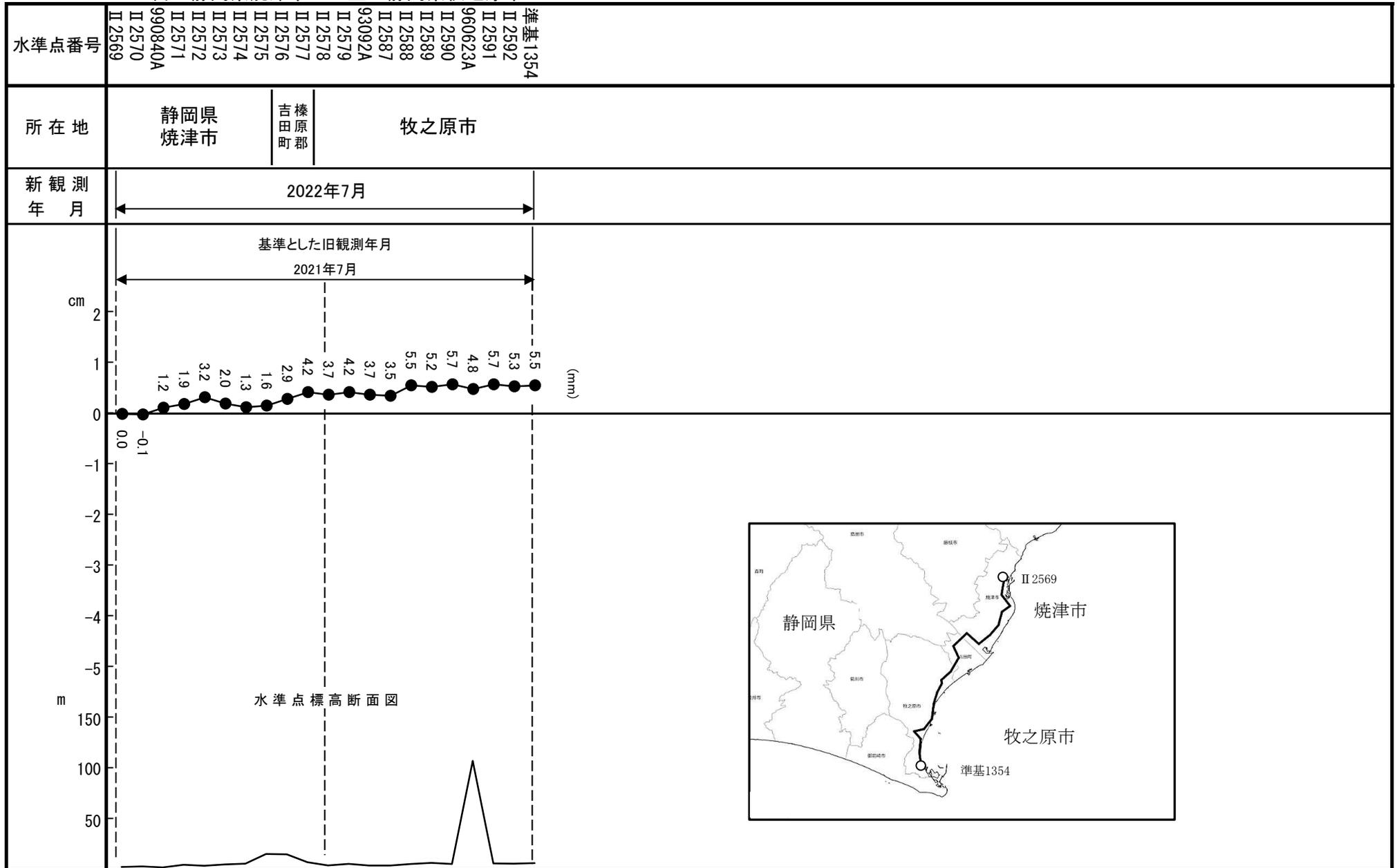
22-05-03

自 静岡県駿東郡清水町 至 静岡県焼津市



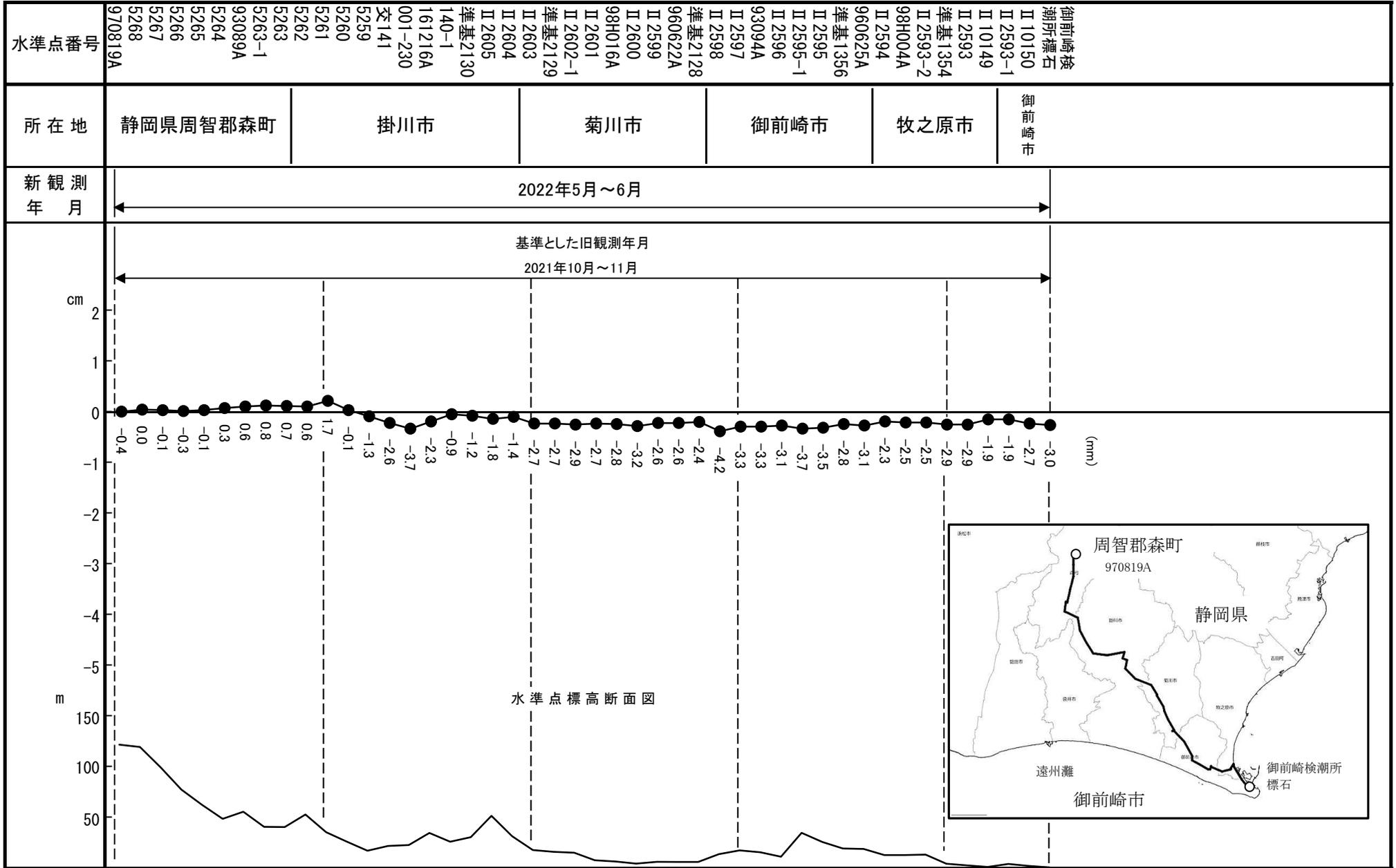
22-05-04

自 静岡県焼津市 至 静岡県牧之原市



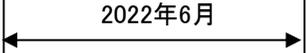
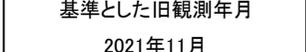
22-05-05

自 静岡県周智郡森町 至 静岡県御前崎市



22-05-06

自 静岡県御前崎市 至 静岡県御前崎市

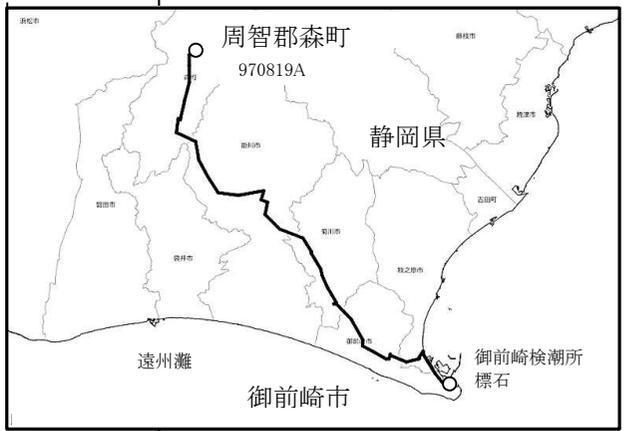
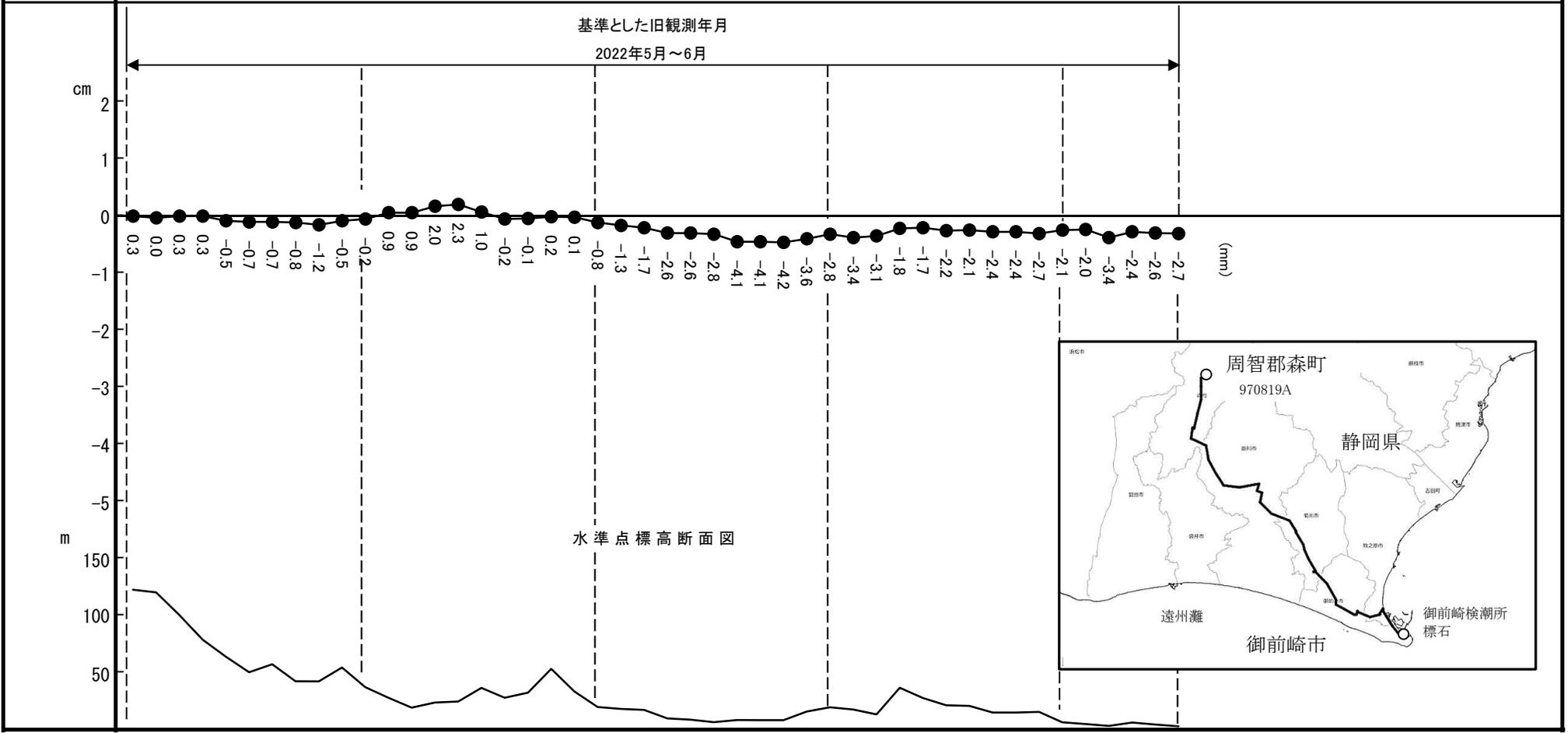
水準点番号	御前崎検潮所標石 II 10151 観測場付風水準点 水管東補助点 091178A 水管固定点 II 10152 II 10153 II 10154 II 10155 II 2595	
所在地	静岡県御前崎市	
新観測年月	2022年6月 	
年 月 cm 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5 m 60 40 20 水準点標高断面図 II 2595 静岡県 駿河湾 御前崎市 遠州灘 御前崎検潮所標石	基準とした旧観測年月 2021年11月  0.0 1.0 1.1 3.2 1.7 1.8 1.1 0.2 -0.7 -1.0 -0.5 (mm)	

22-05-07

自 静岡県周智郡森町 至 静岡県御前崎市

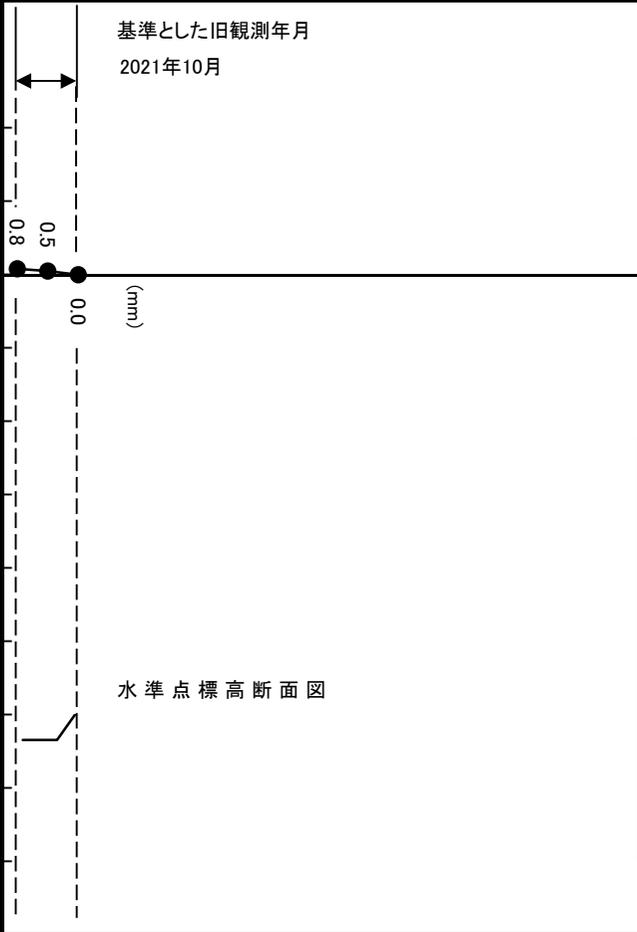
水準点番号	970819A 5268 5267 5266 5265 5264 93089A 5263-1 5263 5262 5261 5260 5259 交141 001-230 161216A 140-1 準基2130 II 2605 II 2604 II 2603 準基2129 II 2602-1 98H016A II 2601 98H016A II 2600 960622A 準基2128 II 2598 II 2597 93094A II 2596 II 2595-1 II 2595 準基1356 960625A II 2594 98H004A II 2593-2 準基1354 II 2593 II 10149 II 10150 御前崎検潮所標石	静岡県周智郡森町	掛川市	菊川市	御前崎市	牧之原市	御前崎市
-------	---	----------	-----	-----	------	------	------

新観測年月	2022年10月~11月					
-------	--------------	--	--	--	--	--



22-05-09

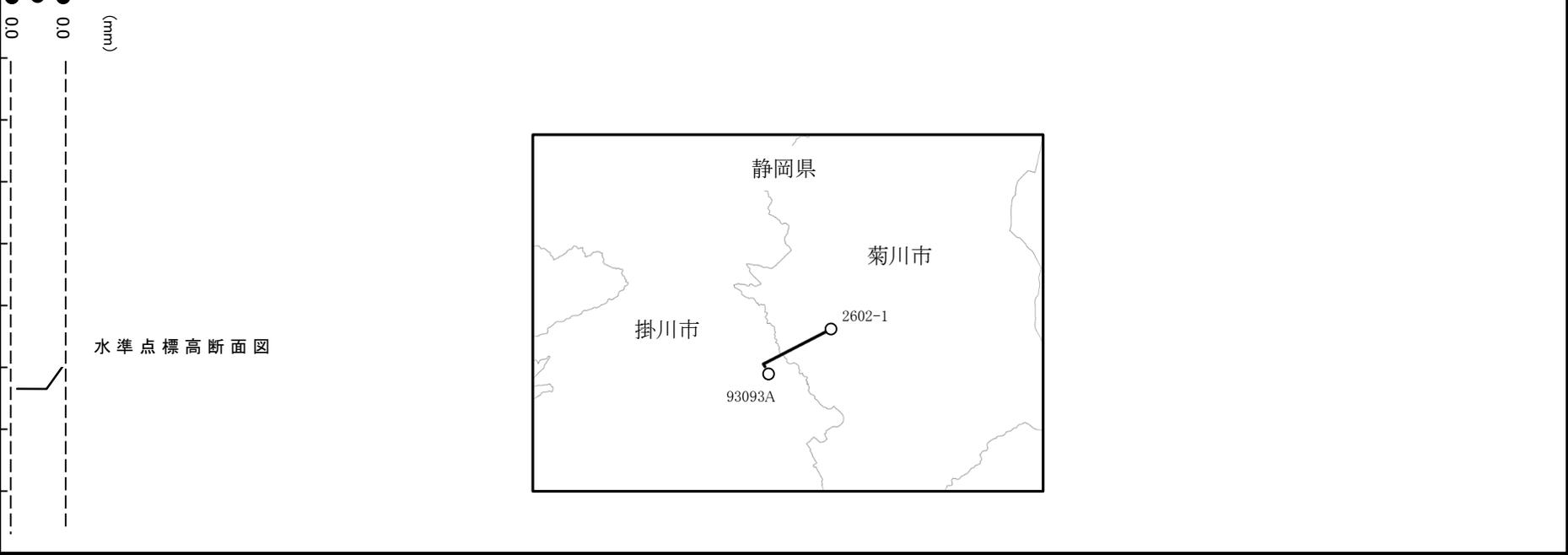
自 静岡県掛川市 至 静岡県菊川市

水準点番号	93093A II 10333 II 2602-1
所在地	静岡県 掛川市 菊川市
新観測年月	2022年5月
cm 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5 m 15 10 5	基準とした旧観測年月 2021年10月
	 <p>水準点標高断面図</p>



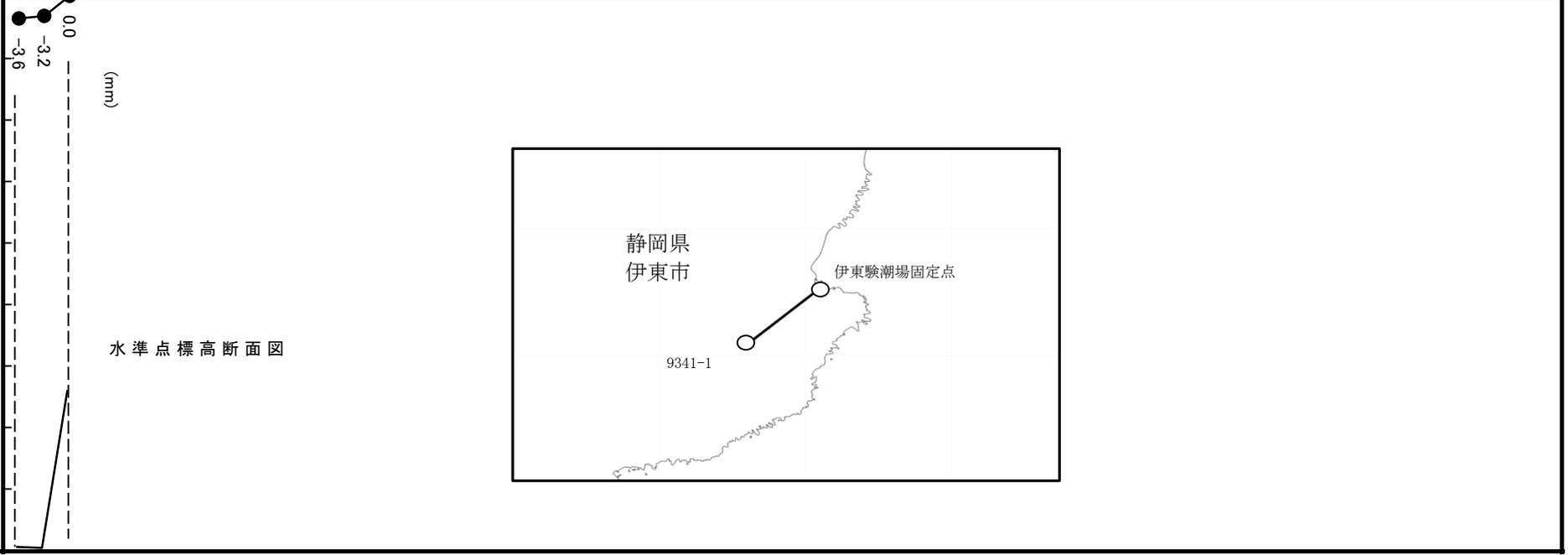
22-05-10

自 静岡県掛川市 至 静岡県菊川市

水準点番号	93093A II 10333 II 2602-1
所在地	静岡県 掛川市 菊川市
新観測年月	←→ 2022年10月
cm 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5 m 15 10 5	基準とした旧観測年月 ←→ 2022年5月
	 <p>(mm)</p> <p>水準点標高断面図</p>

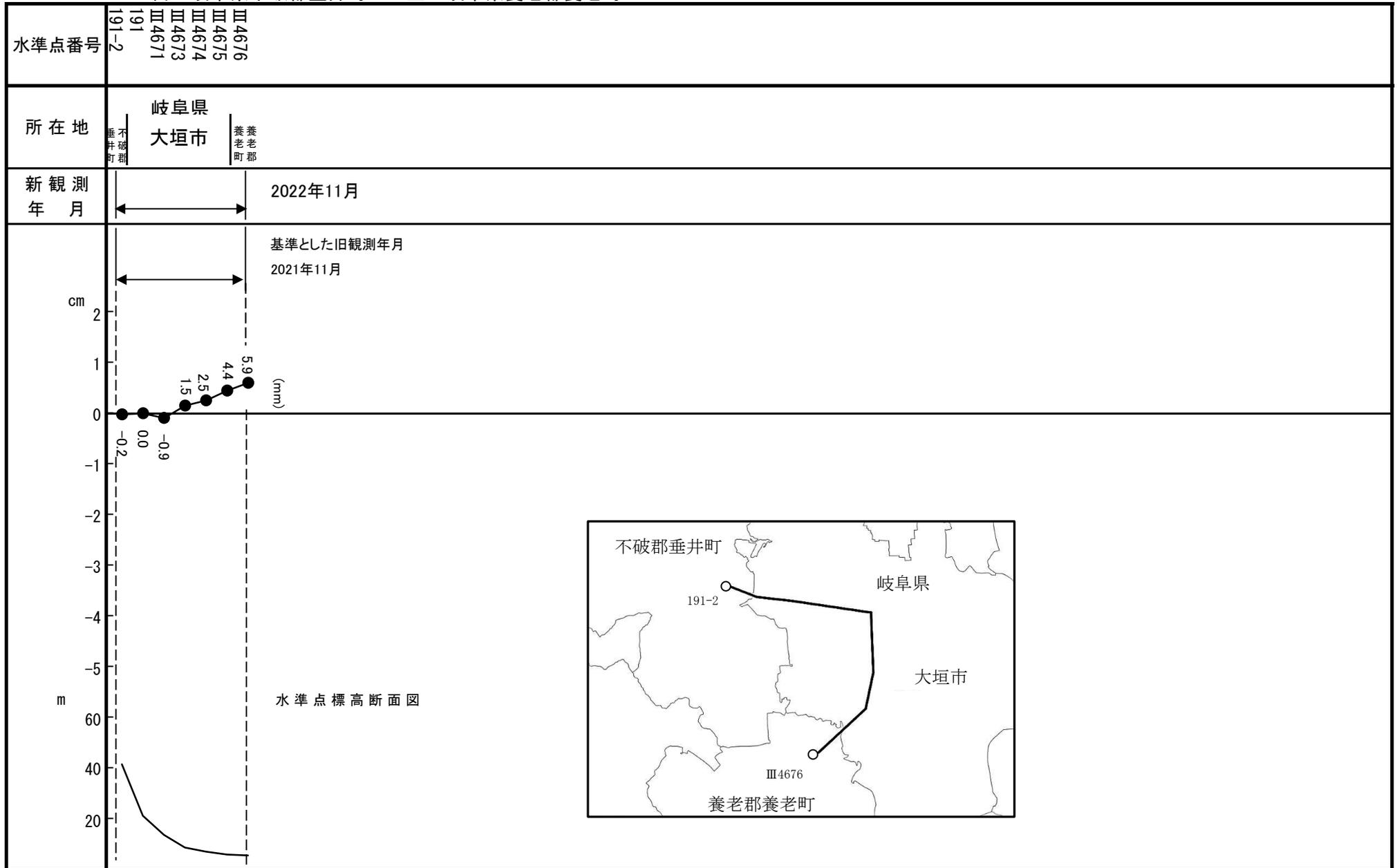
22-05-11

自 静岡県伊東市 至 静岡県伊東市

水準点番号	9341-1 伊東験潮場固定点 附28
所在地	静岡県 伊東市
新観測年月	2022年7月
cm 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5 90 60 30 m	基準とした旧観測年月 2015年9月
	 <p>水準点標高断面図</p>

22-06-01

自 岐阜県不破郡垂井町 至 岐阜県養老郡養老町



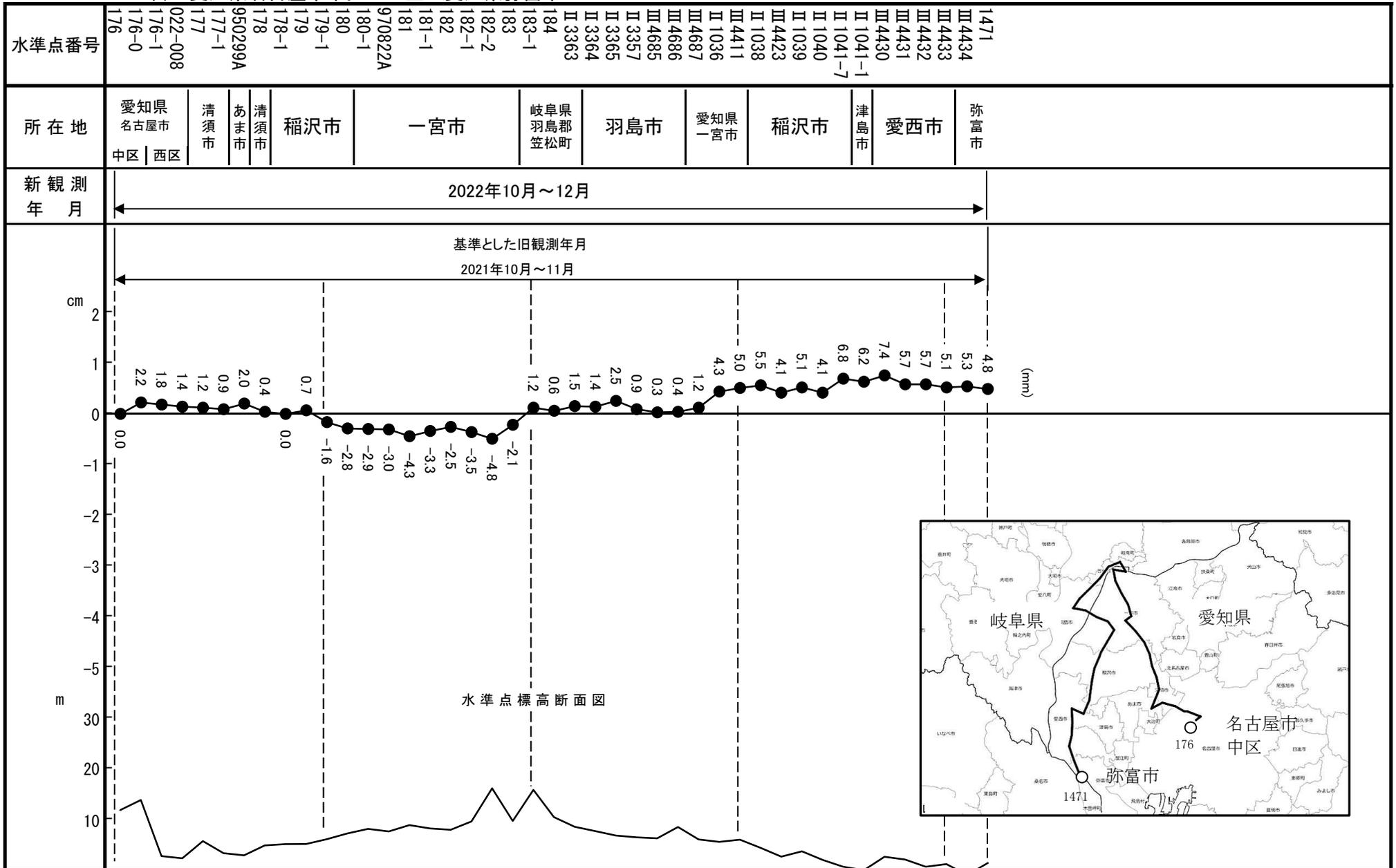
22-06-02

自 岐阜県大垣市 至 岐阜県不破郡垂井町

水準点番号	191 950291A
所在地	岐阜県 大垣市 垂井町 不破郡
新観測年月	2022年11月
水準点標高断面図	基準とした旧観測年月 2021年11月 cm 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5 30 20 10 1.9 (mm) 0.0
	水準点標高断面図 岐阜県 大垣市 191 950291A 不破郡垂井町

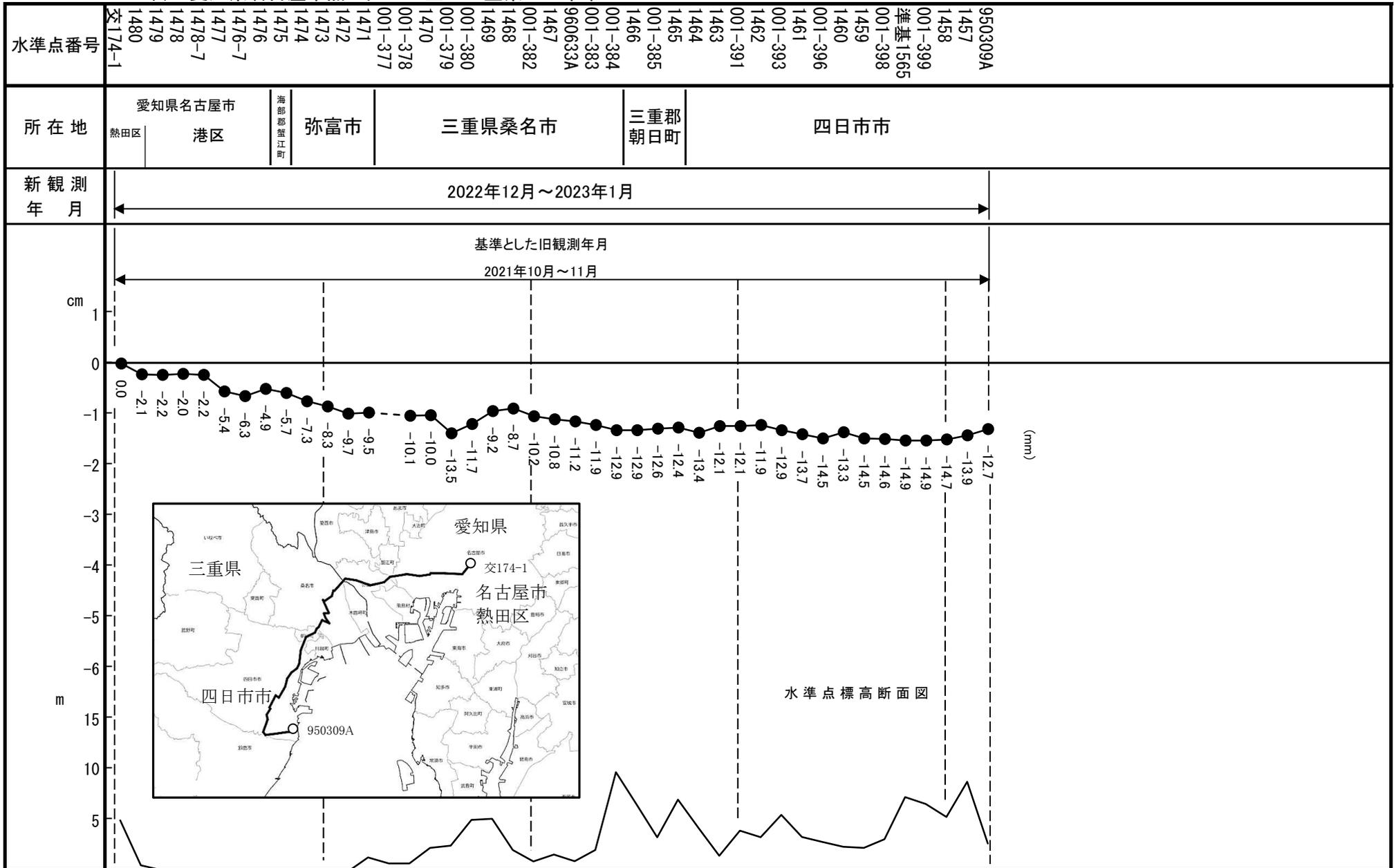
22-06-03

自 愛知県名古屋市中区 至 愛知県弥富市



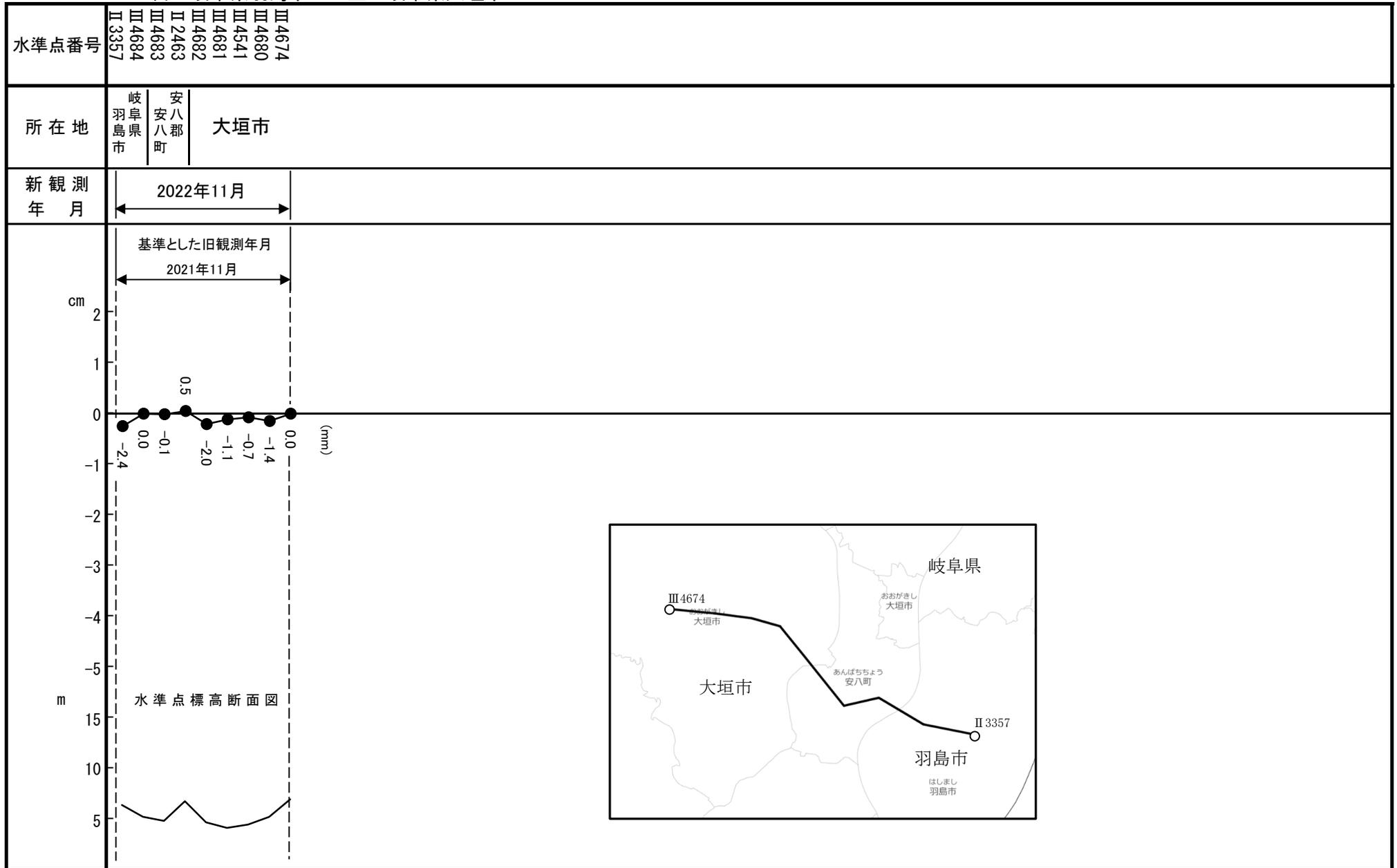
22-06-04

自 愛知県名古屋市熱田区 至 三重県四日市市



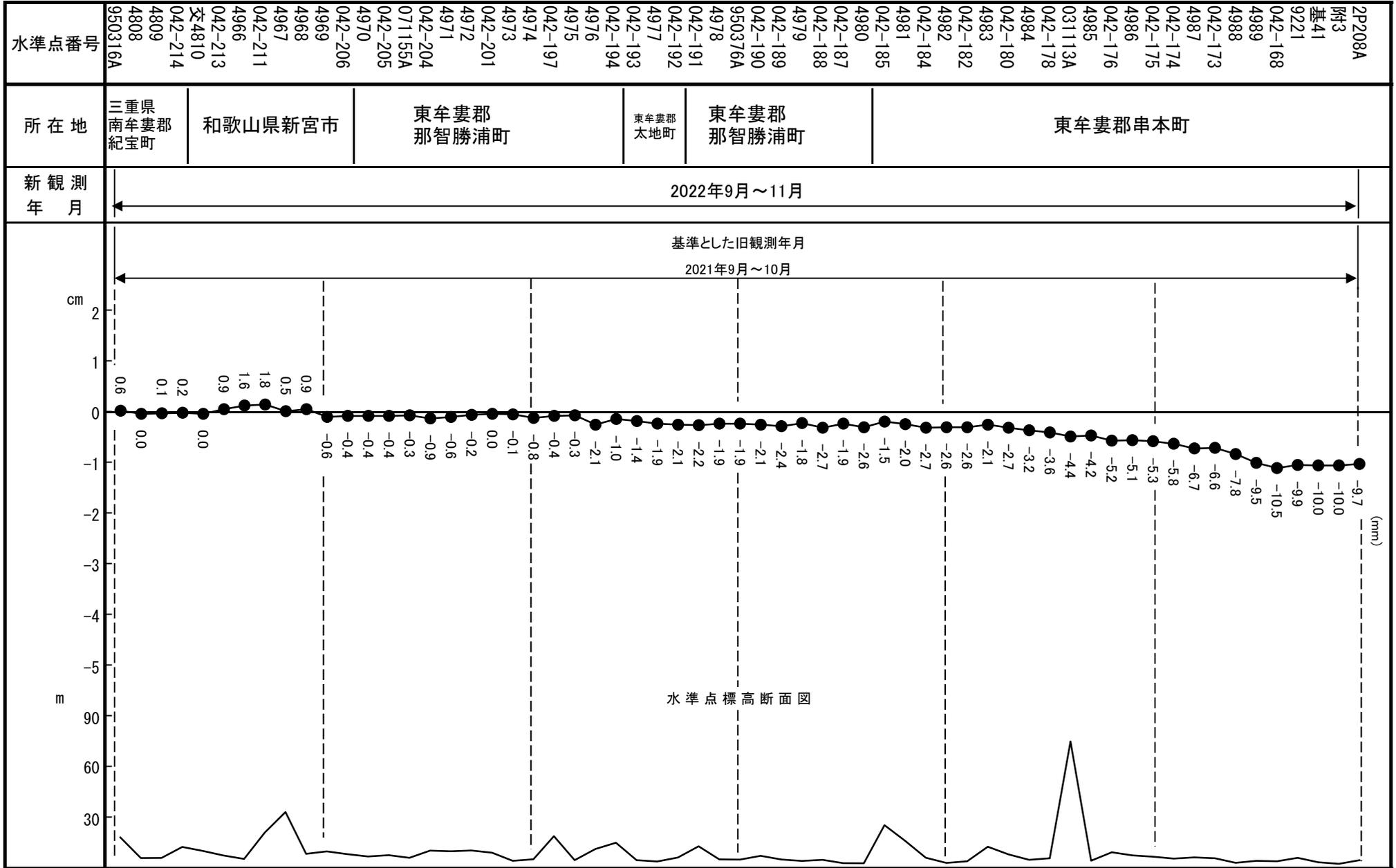
22-06-05

自 岐阜県羽島市 至 岐阜県大垣市



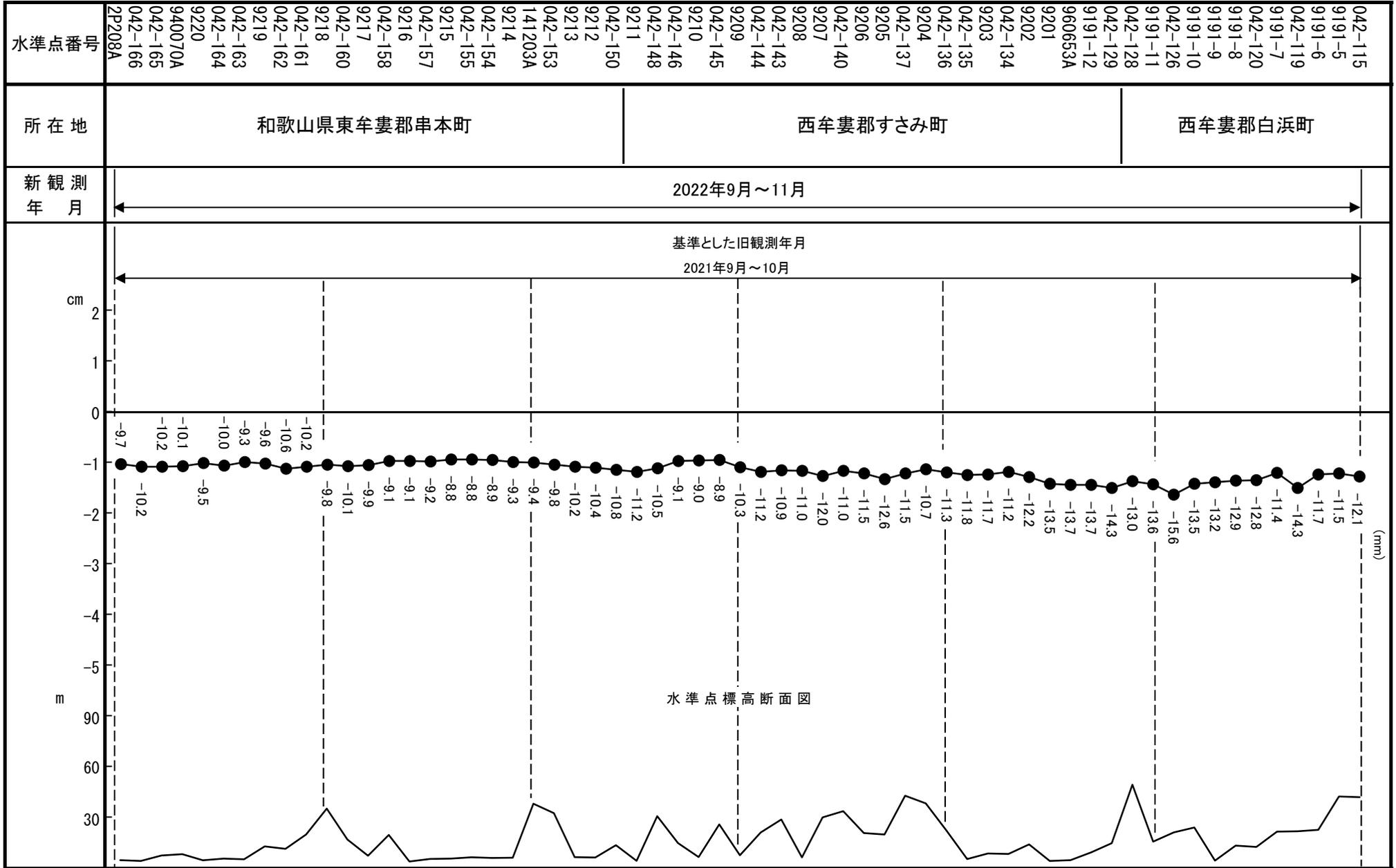
22-07-01

自 三重県南牟婁郡紀宝町 至 和歌山県田辺市

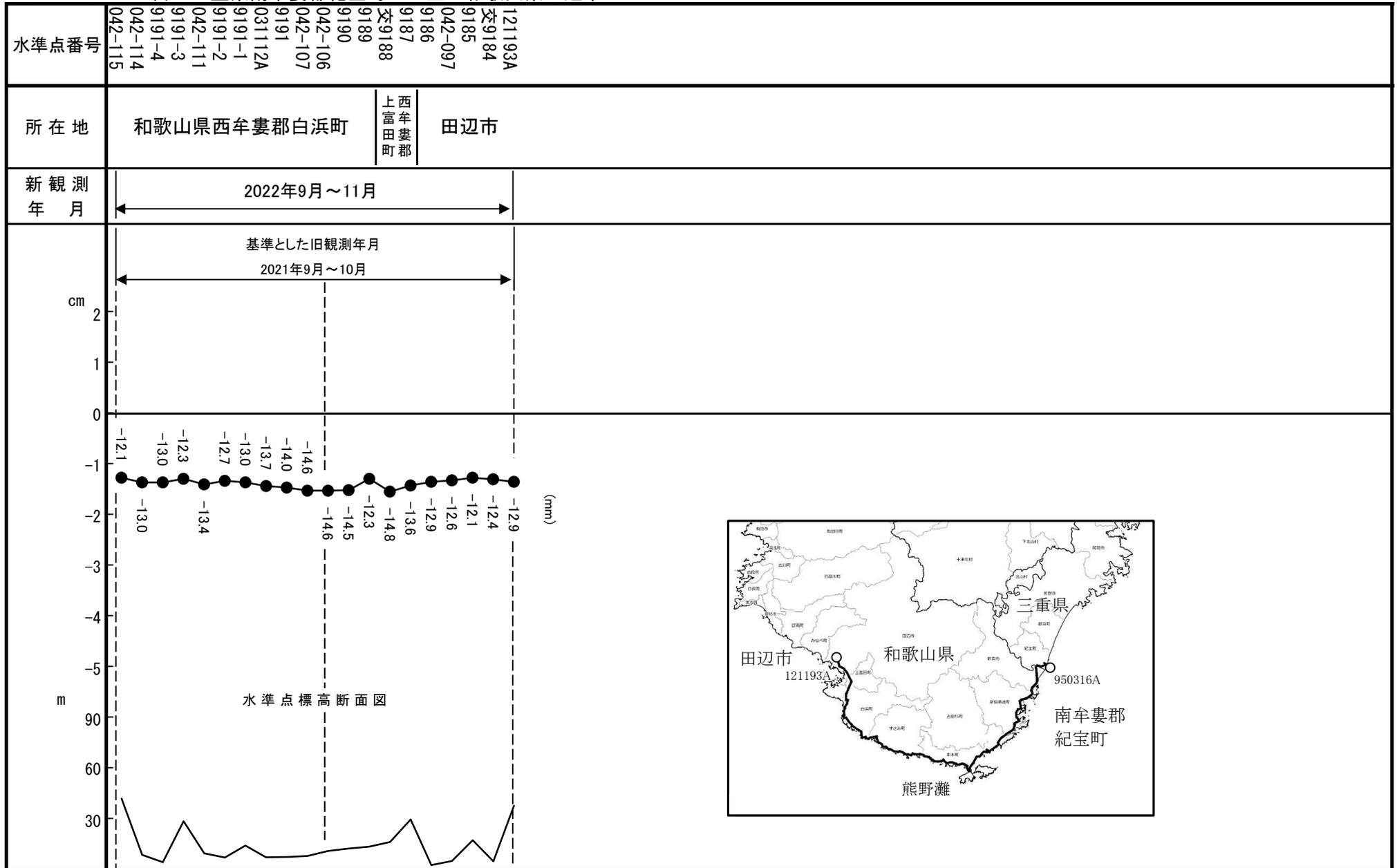


22-07-01

自 三重県南牟婁郡紀宝町 至 和歌山県田辺市

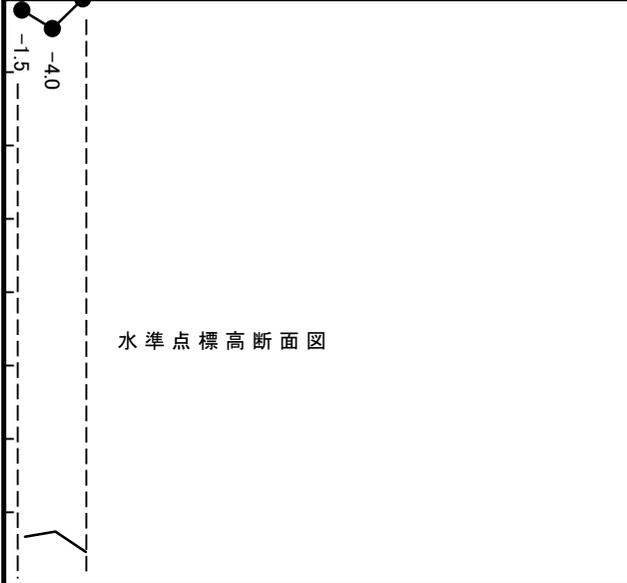


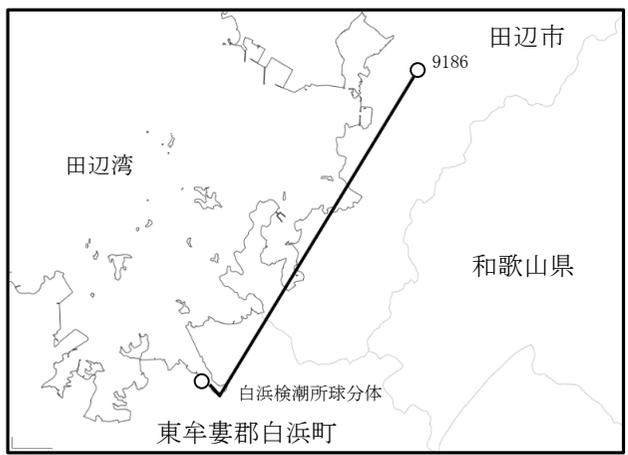
22-07-01 自 三重県南牟婁郡紀宝町 至 和歌山県田辺市



22-07-02

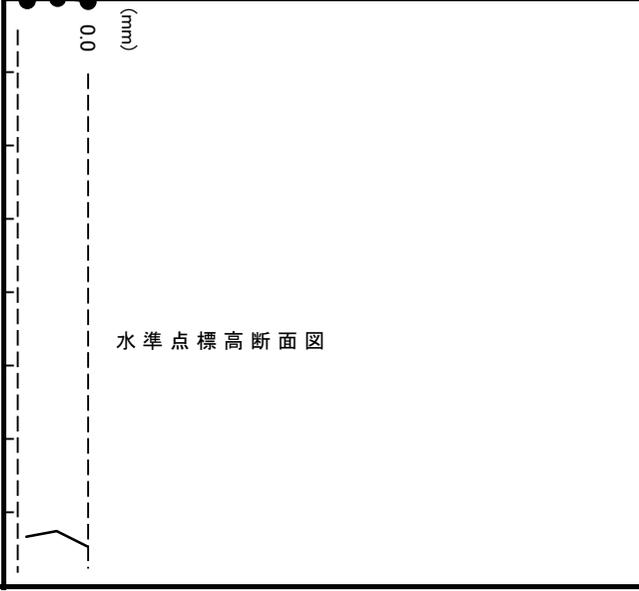
自 和歌山県田辺市 至 和歌山県田辺市

水準点番号	9186 白浜検潮所附属水 準点 白浜検潮所球分体
所在地	和歌山県 東牟婁郡 田辺市
新観測年月	2022年9月
水準点標高断面図	基準とした旧観測年月 2021年9月
	 <p>水準点標高断面図</p>



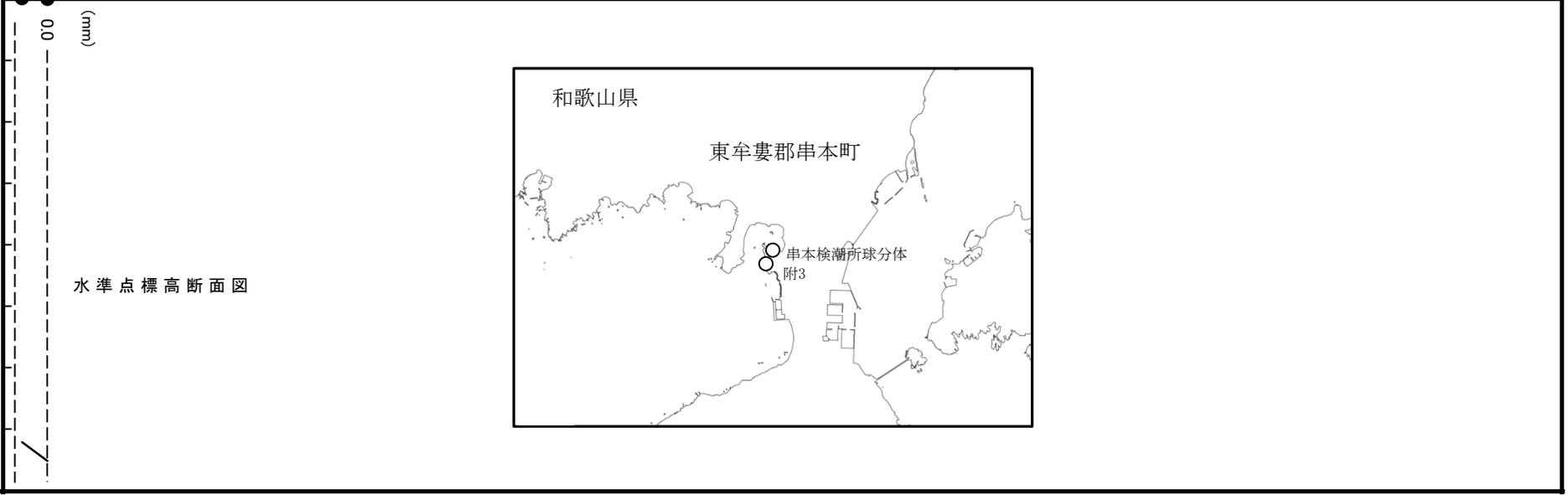
22-07-03

自 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町 至 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町

水準点番号	4980 浦神検潮所付属水準点 浦神検潮所球分体	
所在地	和歌山県 東牟婁郡 那智勝浦町	
新観測年月	←→	2022年10月
cm 3 2 1 0 -1 -2 -3 -4 m 15 10 5	←→	基準とした旧観測年月 2021年10月
	0.1 0.4 0.0 (mm)	
		

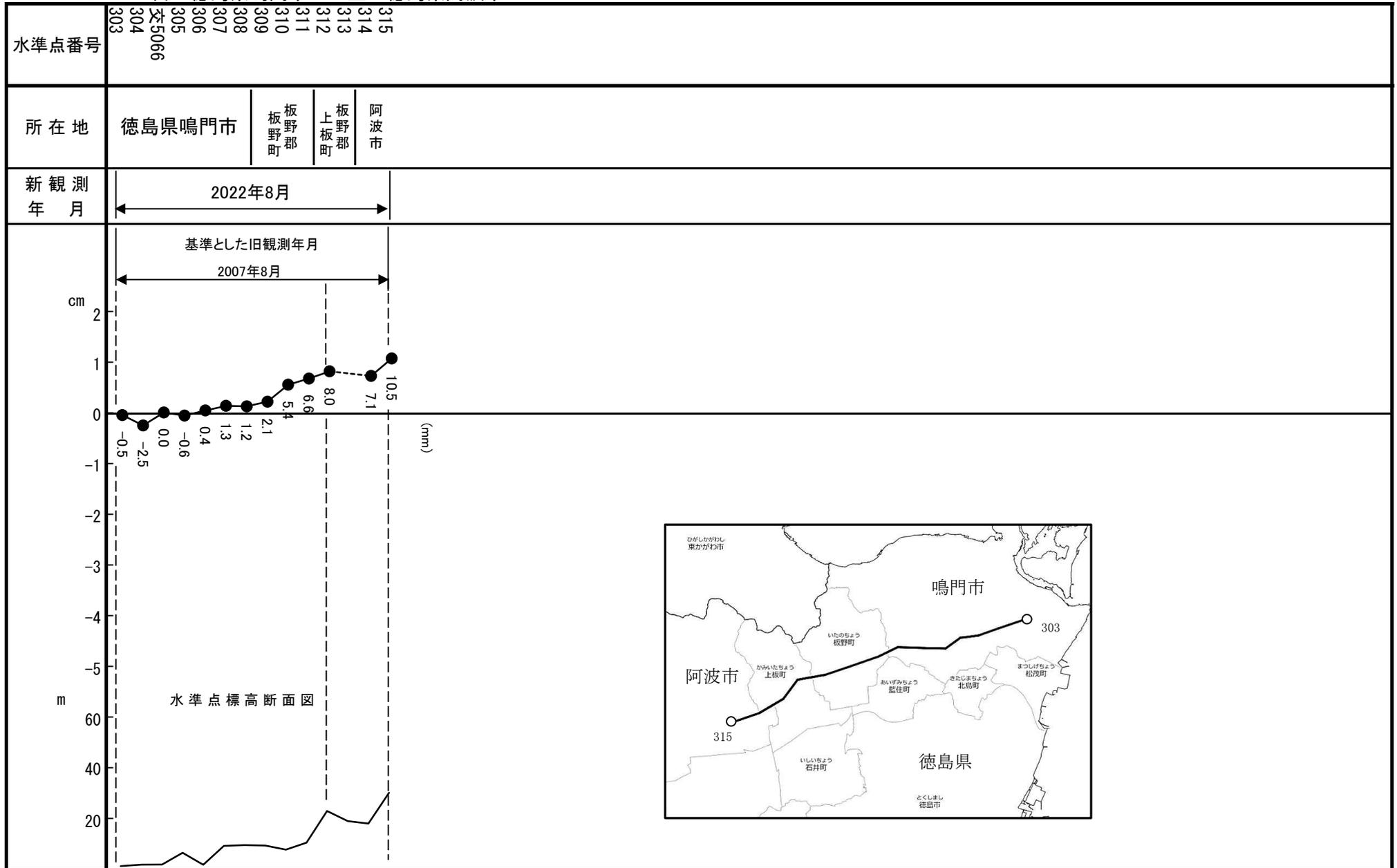
22-07-04

自 和歌山県東牟婁郡串本町 至 和歌山県東牟婁郡串本町

水準点番号	附3 串本検潮所球分体
所在地	和歌山県 東牟婁郡 串本町
新観測年月	2022年10月
水準点標高断面図	基準とした旧観測年月 2021年10月
	

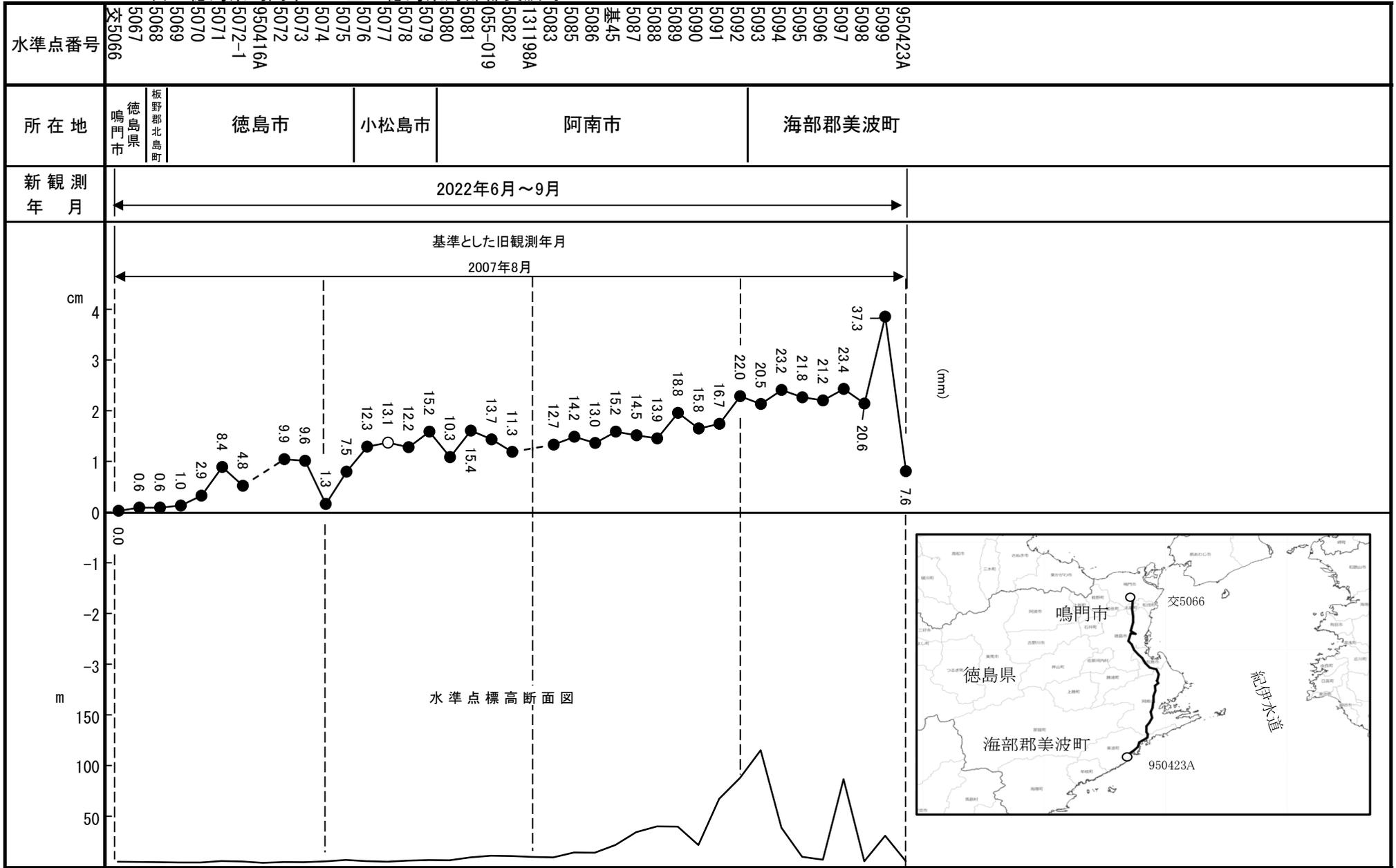
22-08-01

自 徳島県鳴門市 至 徳島県阿波市



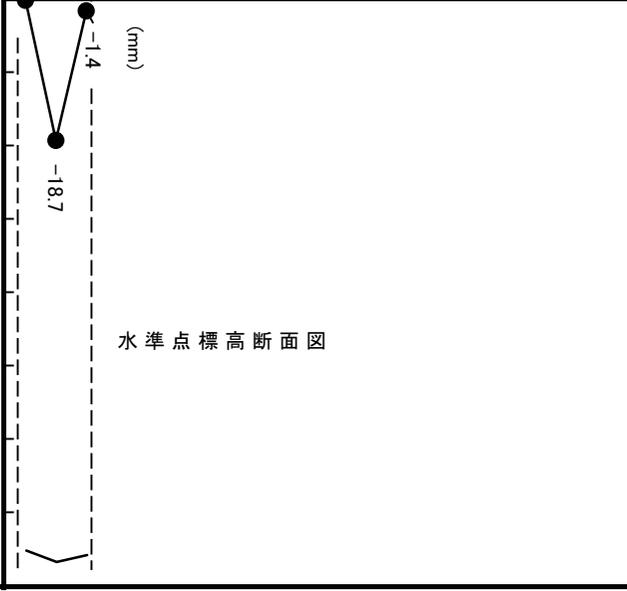
22-08-02

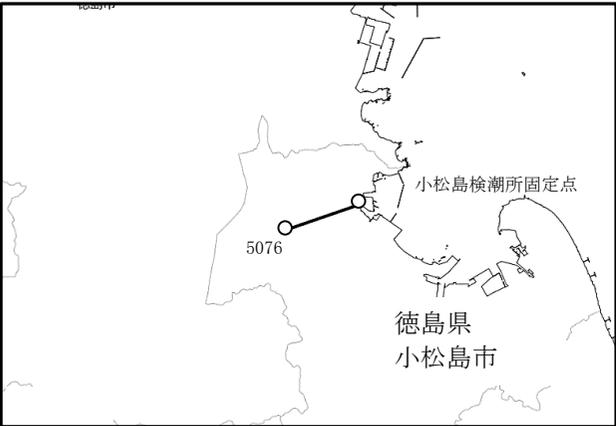
自 徳島県鳴門市 至 徳島県海部郡美波町



22-08-03

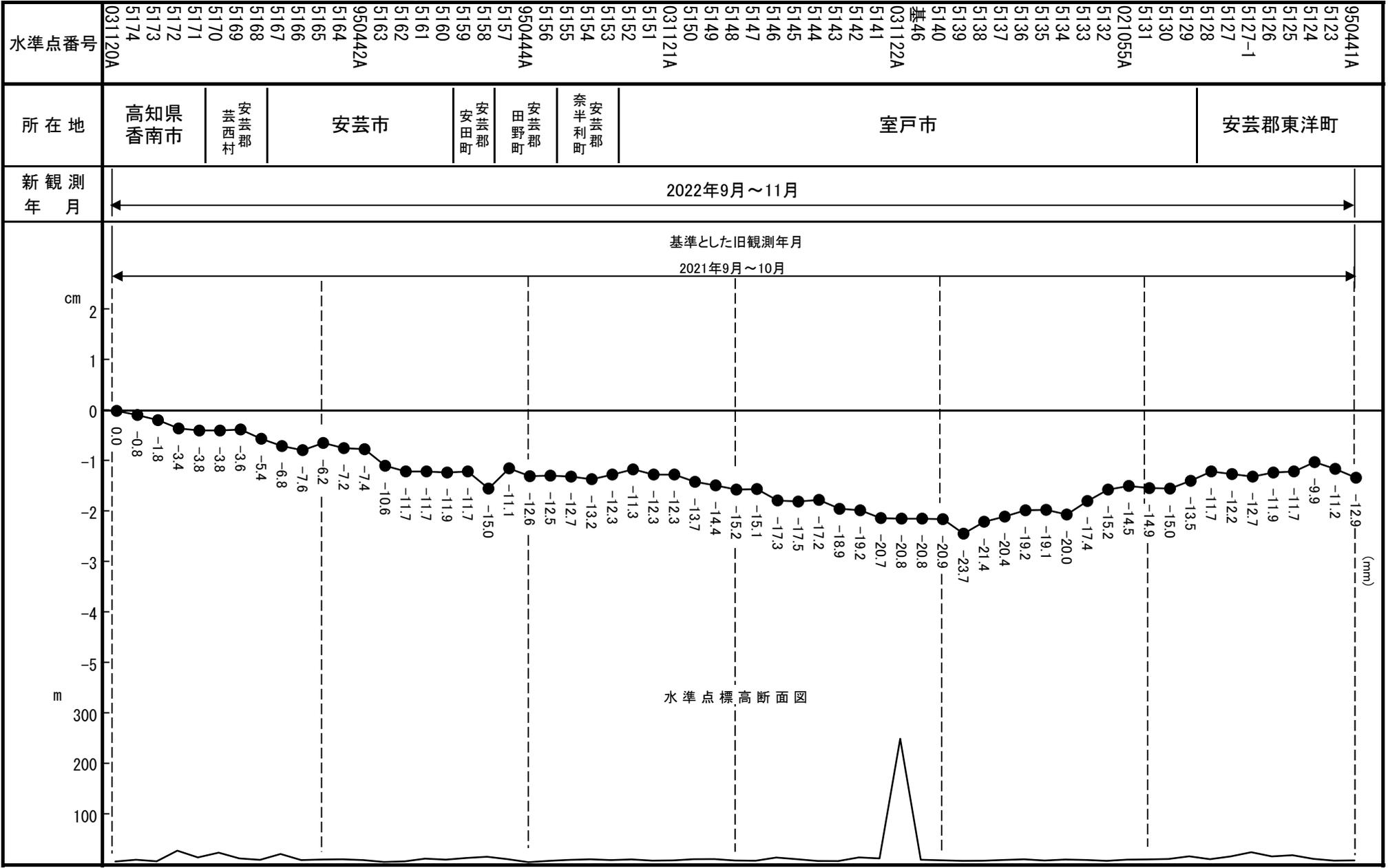
自 徳島県小松島市 至 徳島県小松島市

水準点番号	5076 小松島検潮所 固定点 小松島検潮所水 準点
所在地	徳島県 小松島市
新観測年月	2022年7月
cm 3 2 1 0 -1 -2 -3 -4 m 15 10 5	基準とした旧観測年月 2007年8月
	 <p>水準点標高断面図</p>



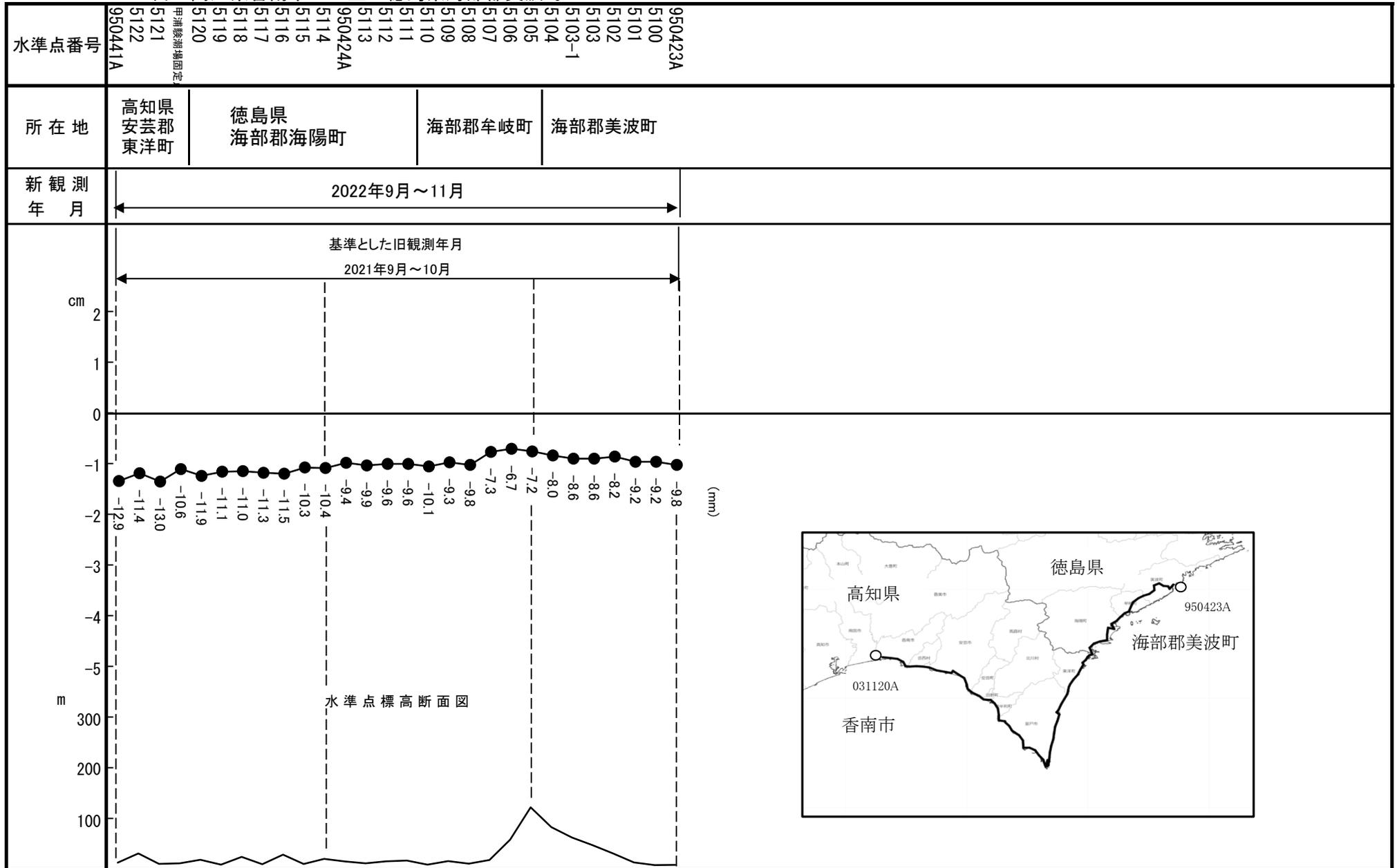
22-08-04

自 高知県香南市 至 徳島県海部郡美波町



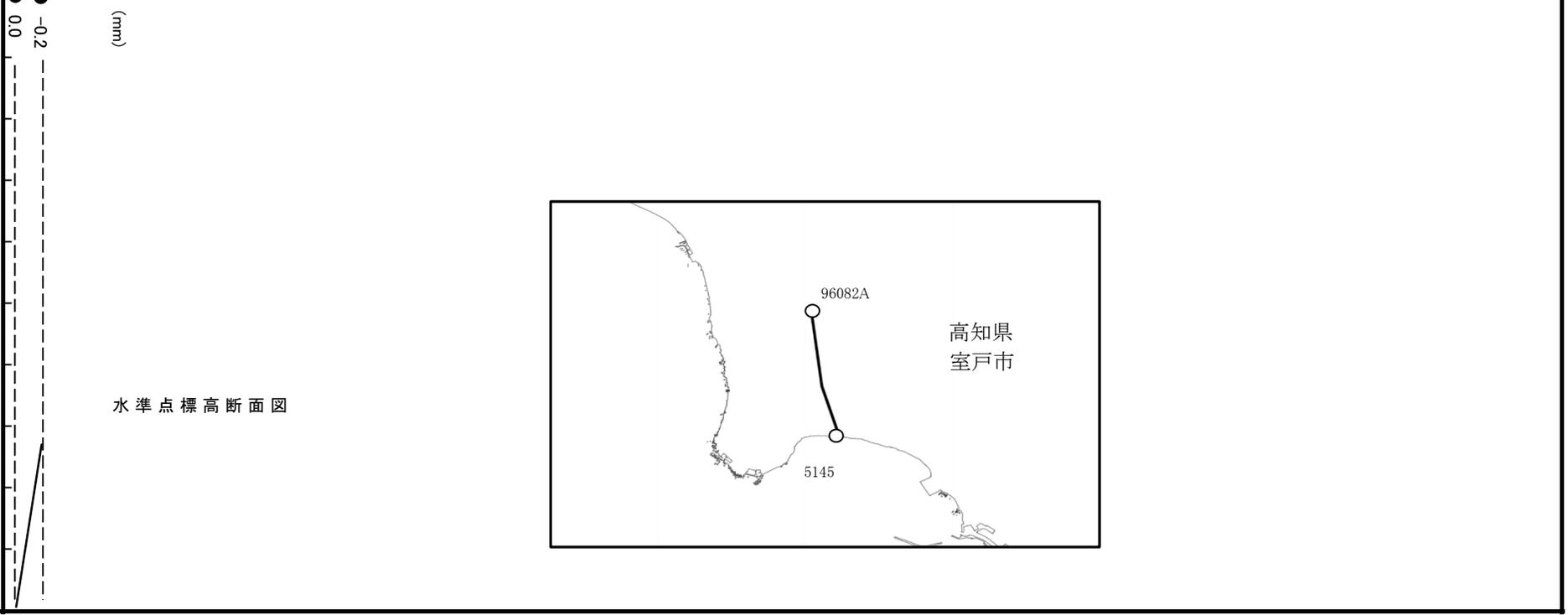
22-08-04

自 高知県香南市 至 徳島県海部郡美波町



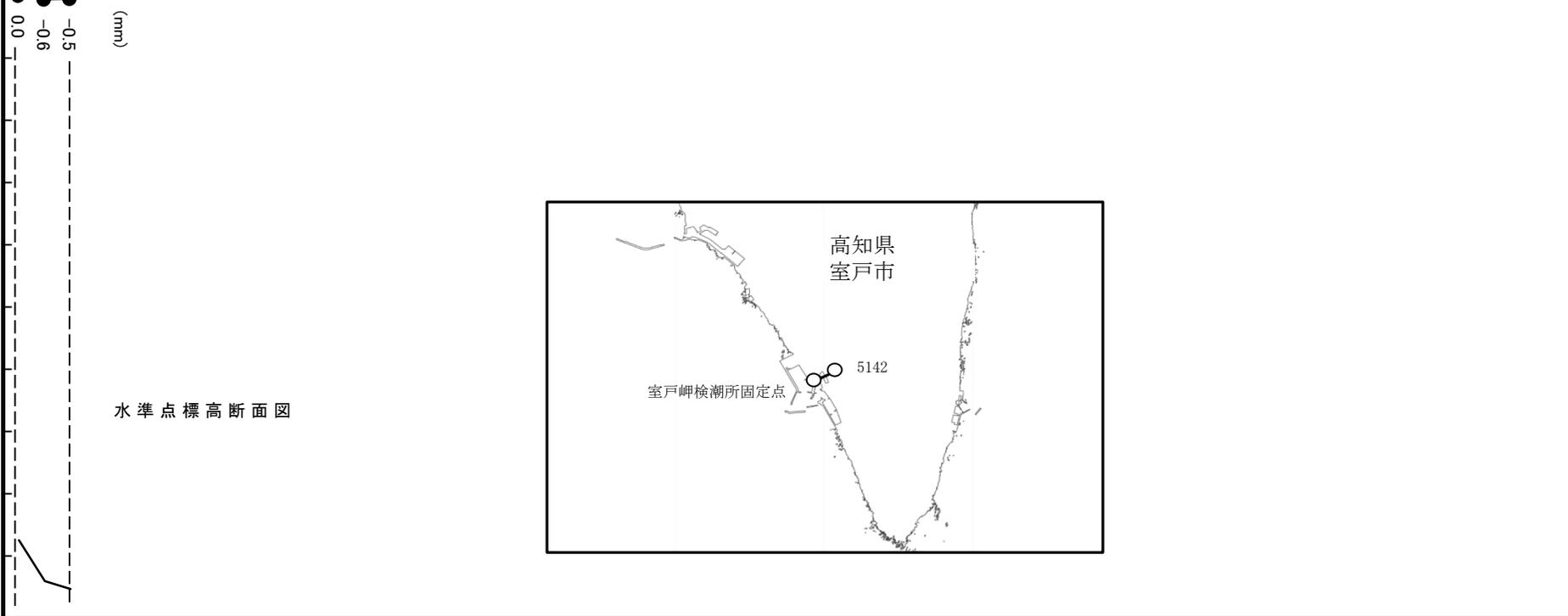
22-08-05

自 高知県室戸市 至 高知県室戸市

水準点番号	940082A 5145
所在地	高知県 室戸市
新観測 年月	2022年10月
水準点標高断面図	基準とした旧観測年月 2021年10月
	 <p>水準点標高断面図</p>

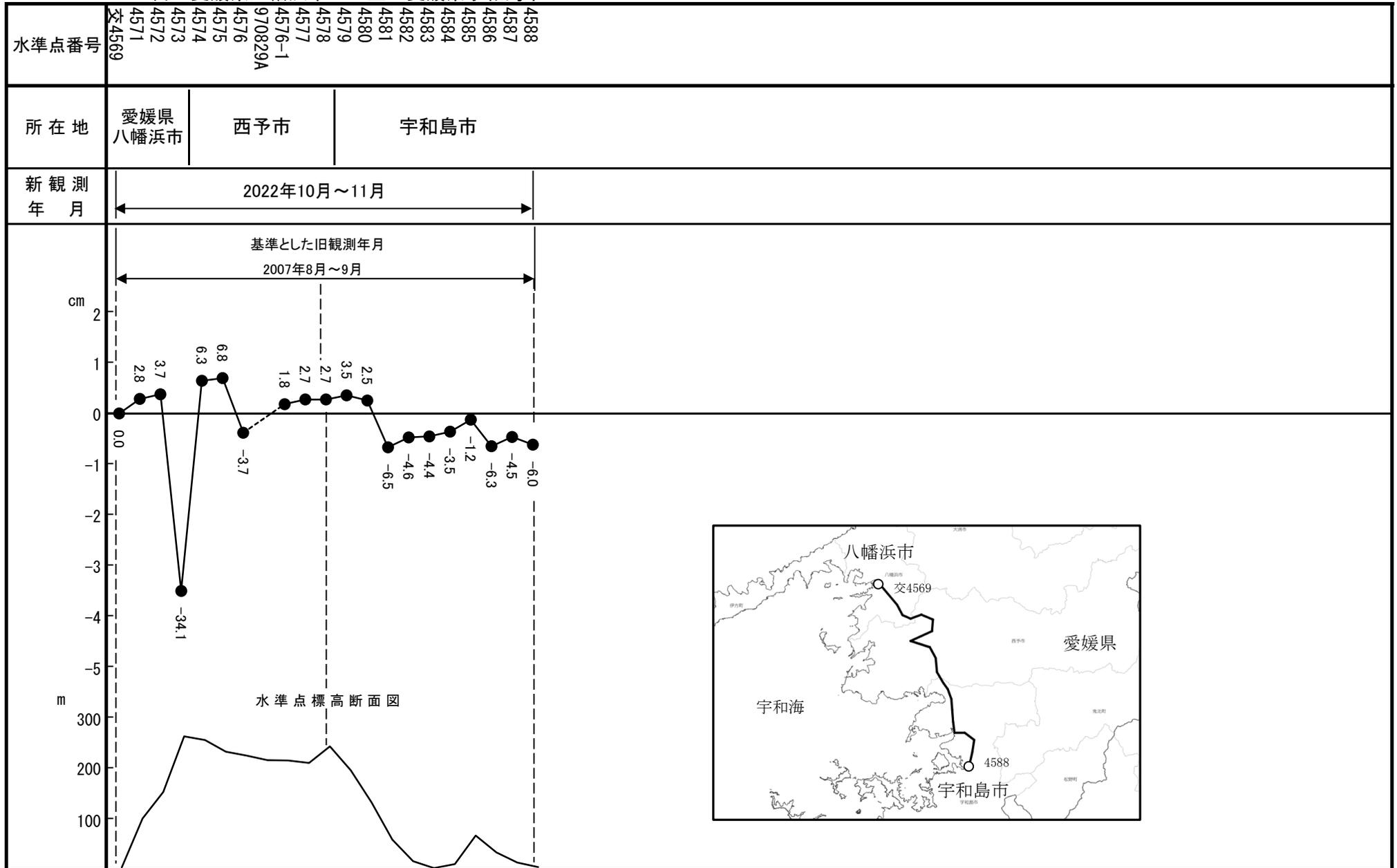
22-08-06

自 高知県室戸市 至 高知県室戸市

水準点番号	5142 室戸岬検潮所固定 点 室戸岬検潮所気象 観測点
所在地	高知県 室戸市
新観測 年月	2022年11月
cm 1 0 -1 -2 -3 -4 -5 -6 m 30 20 10	基準とした旧観測年月 2021年11月
	 <p>(mm)</p> <p>0.0 -0.6 -0.5</p> <p>水準点標高断面図</p> <p>高知県 室戸市</p> <p>室戸岬検潮所固定点 5142</p>

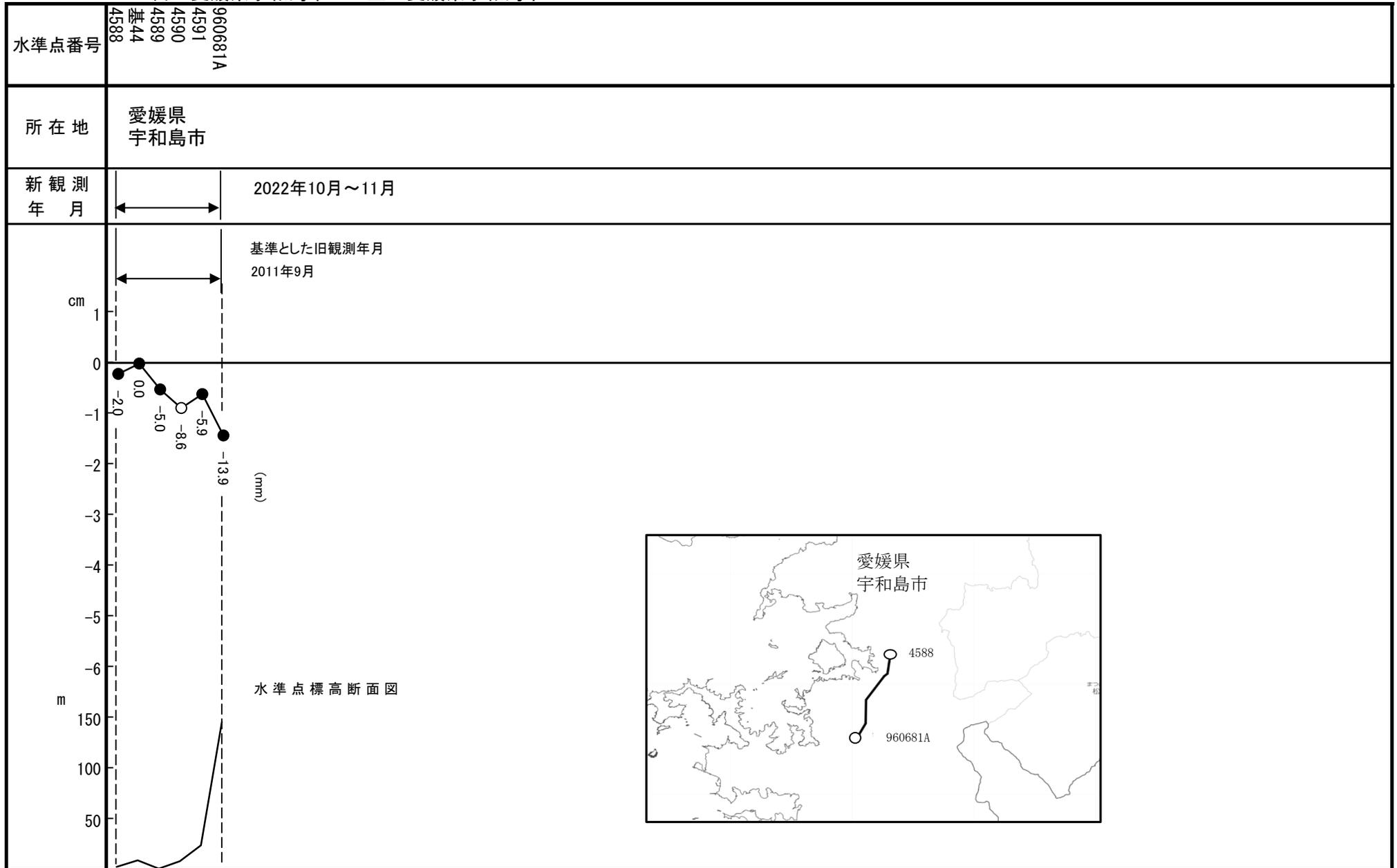
22-08-07

自 愛媛県八幡浜市 至 愛媛県宇和島市



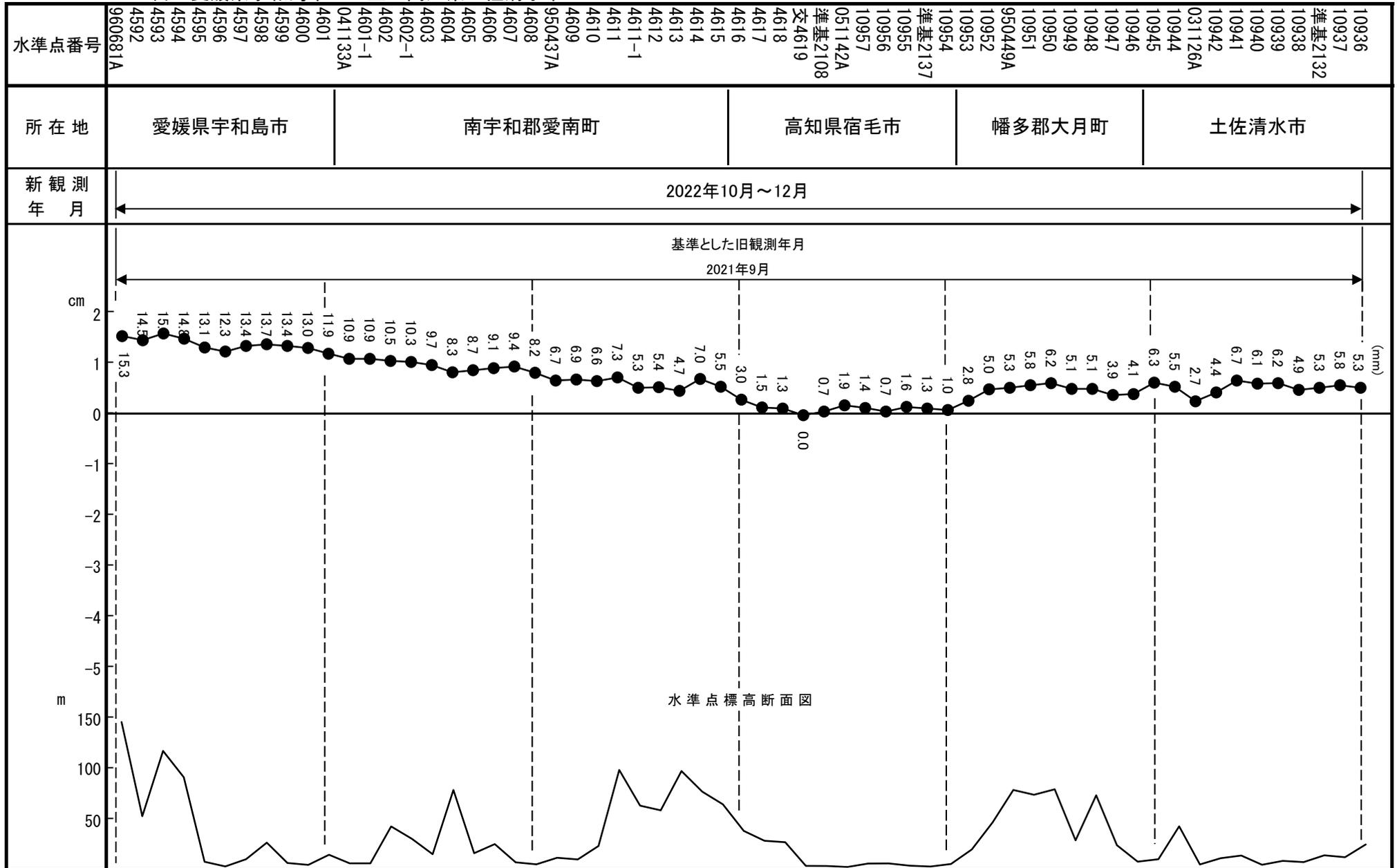
22-08-08

自 愛媛県宇和島市 至 愛媛県宇和島市



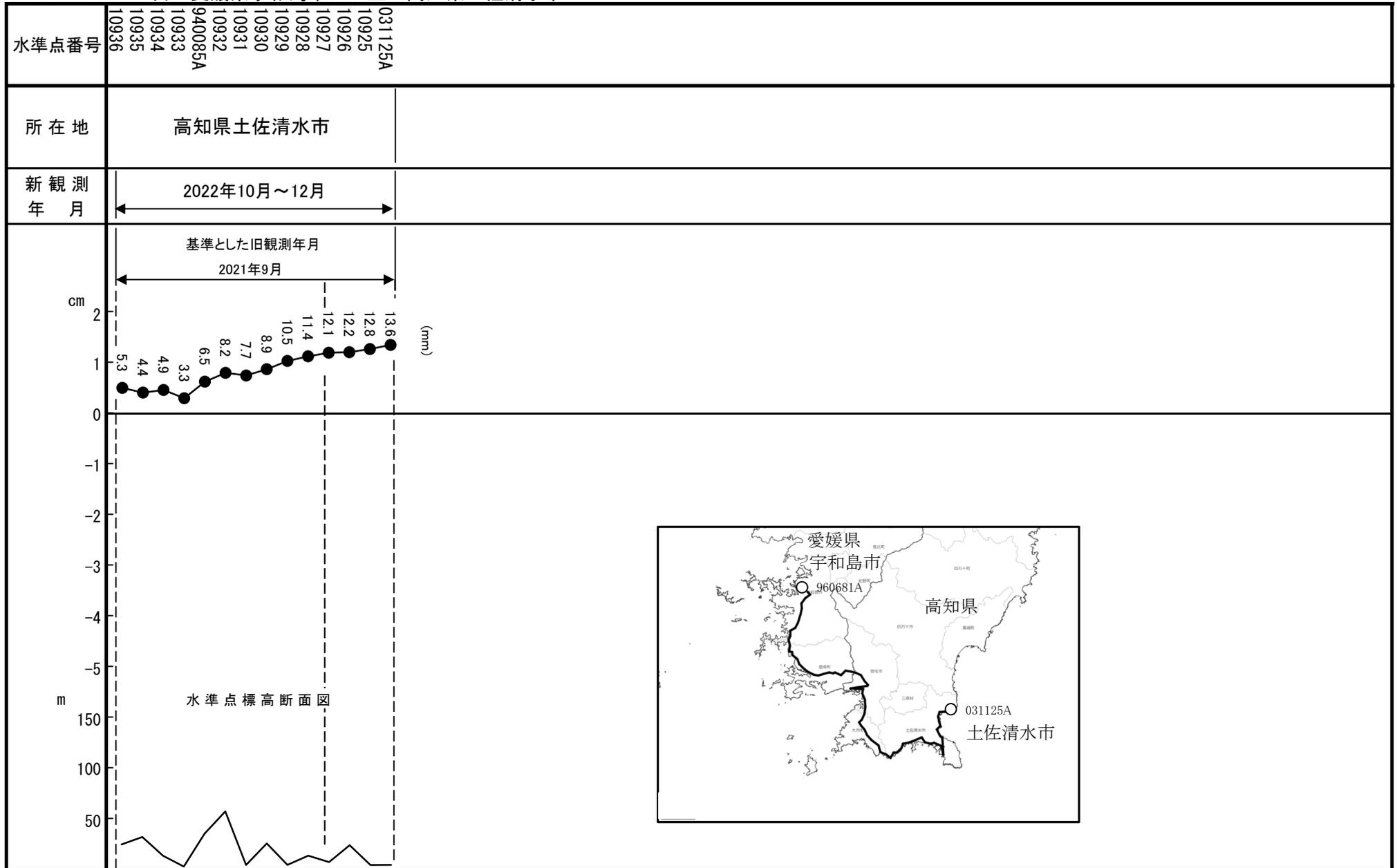
22-08-09

自 愛媛県宇和島市 至 高知県土佐清水市



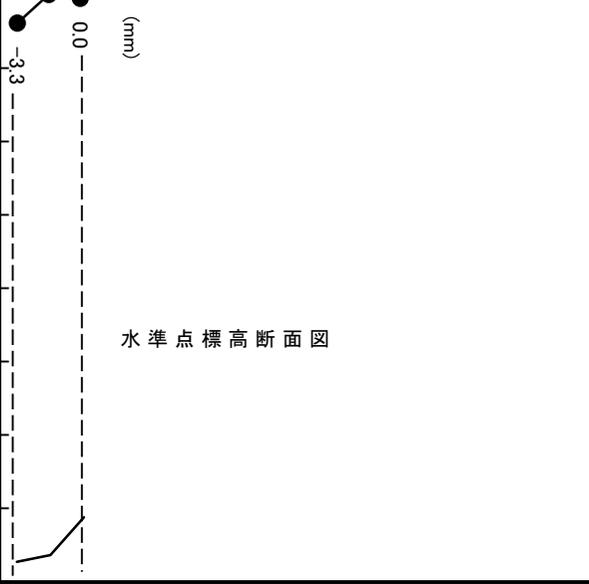
22-08-09

自 愛媛県宇和島市 至 高知県土佐清水市



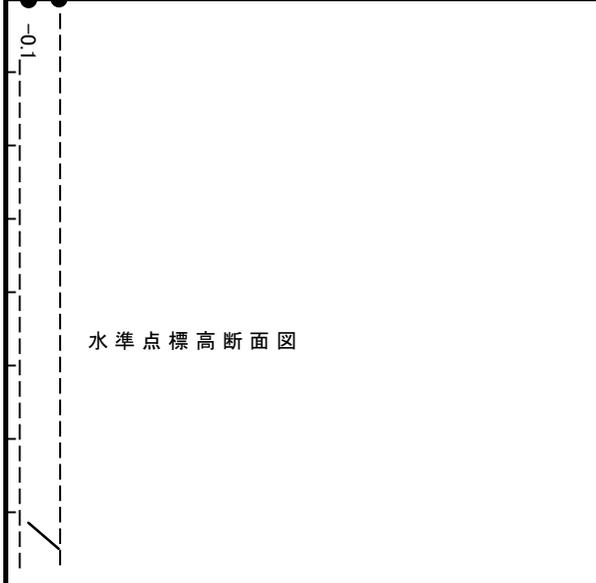
22-08-10

自 愛媛県南宇和郡愛南町 至 愛媛県南宇和郡愛南町

水準点番号	4608 御庄港検潮所付 圓水蓋点 御庄港検潮所球分体
所在地	愛媛県 南宇和郡 愛南町
新観測年月	2022年11月
cm 3 2 1 0 -1 -2 -3 -4 15 10 5 m	基準とした旧観測年月 2021年9月
	 

22-08-11

自 高知県土佐清水市 至 高知県土佐清水市

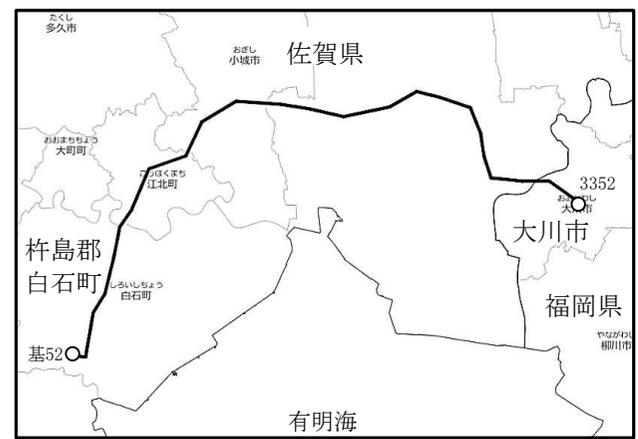
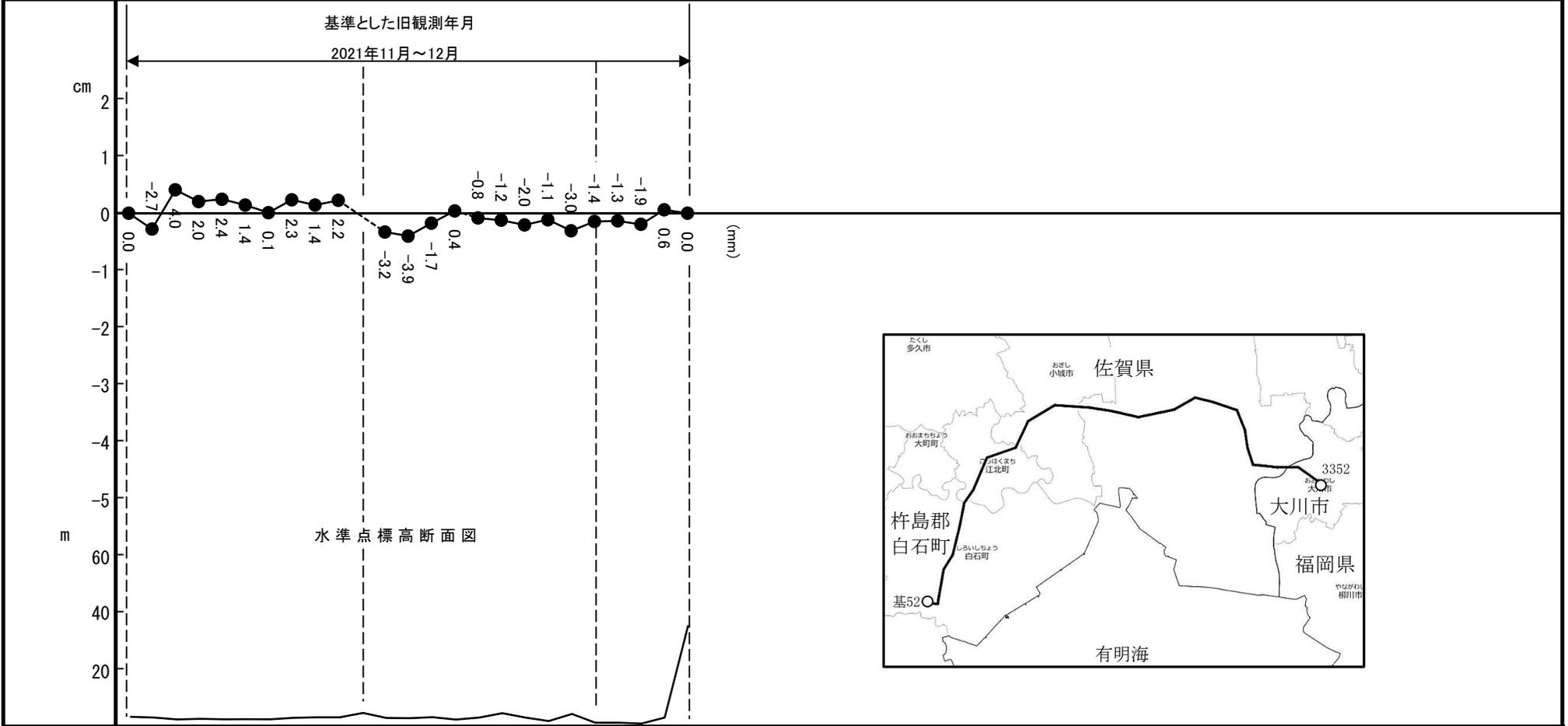
水準点番号	10933 土佐清水検潮所 球分体
所在地	高知県 土佐清水市
新観測年月	2022年11月
旧観測年月	基準とした旧観測年月 2021年9月
水準点標高断面図	  <p>水準点標高断面図</p>

22-09-01

自 福岡県大川市 至 佐賀県杵島郡白石町

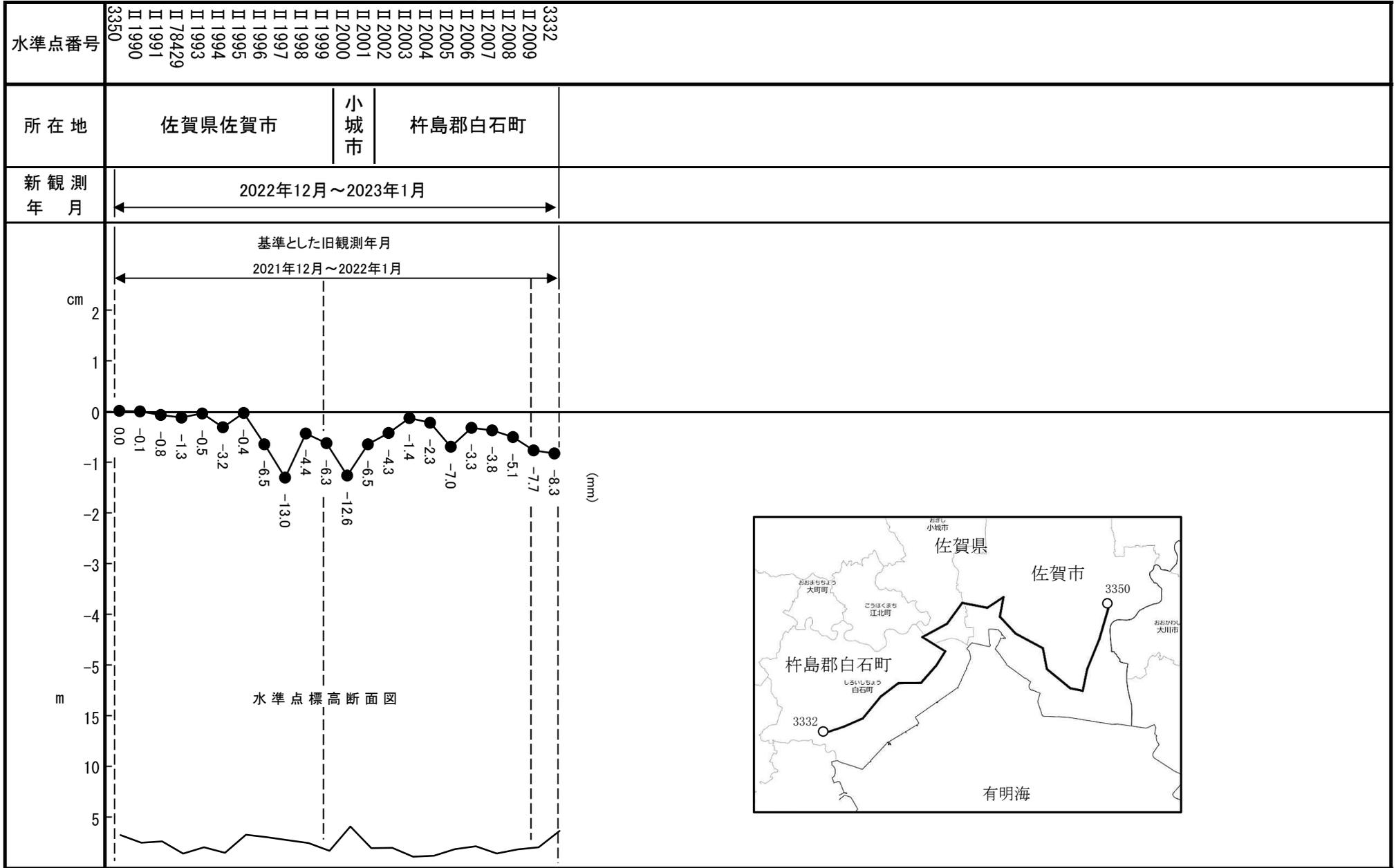
水準点番号	3352 3351-1 3351 3350 基準2278 3349 3348 3347 3346 3345 950454A 3344 3343 3342 3341 3340 3339 3338 3337 3336 3335 3334 3333 3332 基52	福岡県 大川市	佐賀県佐賀市	小城市	杵島郡 江北町	杵島郡白石町
-------	--	------------	--------	-----	------------	--------

新観測年月	2022年11月～12月					
-------	--------------	--	--	--	--	--



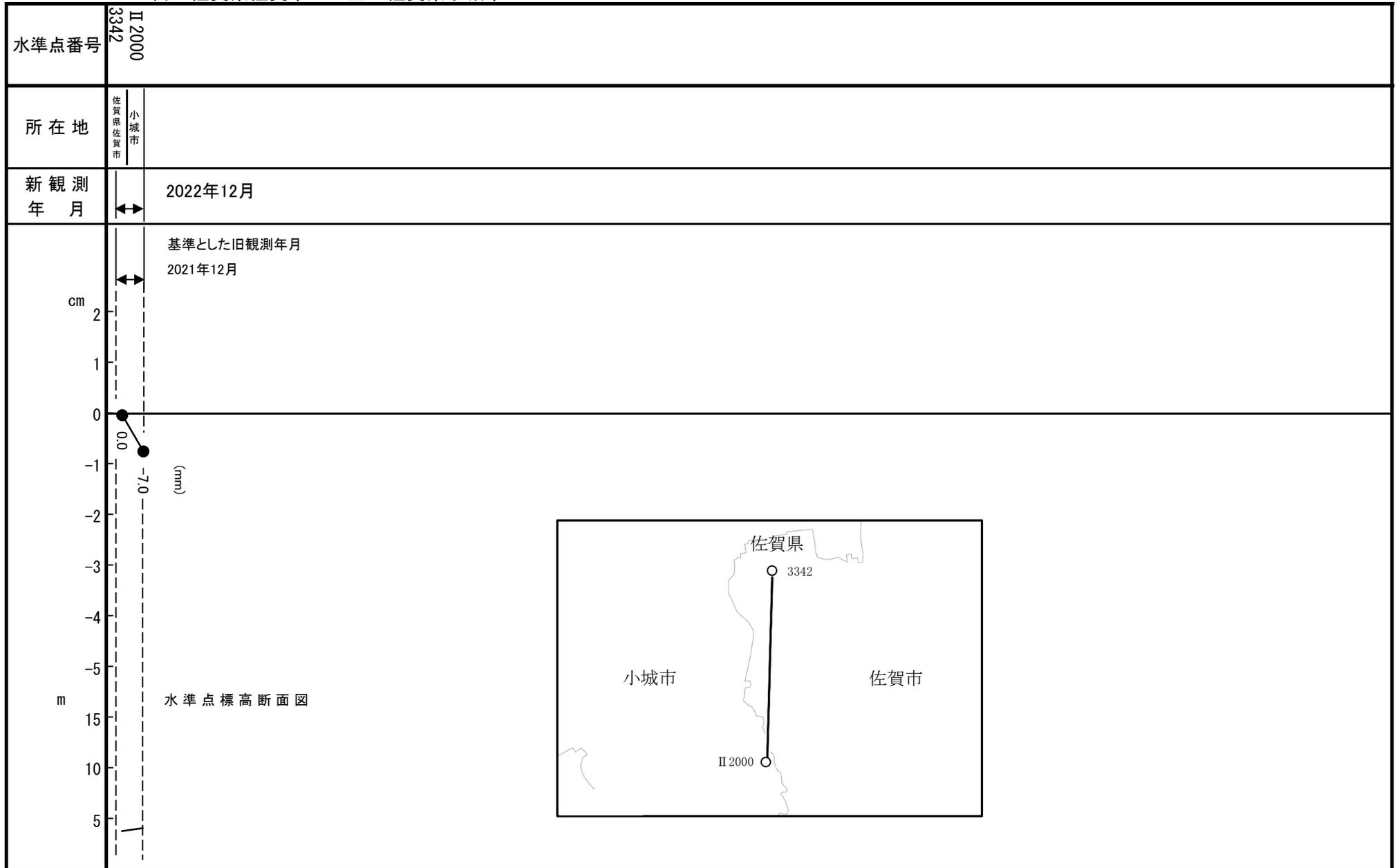
22-09-02

自 佐賀県佐賀市 至 佐賀県杵島郡白石町



22-09-03

自 佐賀県佐賀市 至 佐賀県小城市



22-10-01

自 鹿児島県鹿屋市 至 宮崎県串間市

